

一 竿 遺 跡

福岡県八女市大字立野字一竿・西田所在遺跡の調査報告

八女市文化財調査報告書 第50集

1997

八女市教育委員会

序

今回調査を実施した立野地区周辺は、圃場整備事業が進み、これに伴ってこの地区における埋蔵文化財の発掘調査も増加しているところです。今回の調査は八女市土地開発公社によって、住宅建設が計画されたため事前に発掘調査を実施したものです。発掘調査の実施にあたりまして、八女西部地区土地改良区、八女市土地開発公社におかれましては、終始御協力いただきました。紙上を借りて感謝申し上げます。

平成9年3月31日

八女市教育委員会

教育長 樋口 欽一

例言

1. 本書は八女市教育委員会が、八女市土地開発公社の委託を受けて実施した福岡県八女市大字立野字一竿・字西田所在遺跡の報告書である。なお、当初調査は試掘調査の結果から一竿地区を計画していたが緑地等として保存される事となったため調査の中心は、北側の西田地区が中心になった。しかし当初より遺跡名を一竿遺跡としていたため遺跡の名称はそのまま用いた。
2. 一竿遺跡の発掘調査は八女市教育委員会が主体となり実施した。
3. 遺構の実測は参加者で行い、現場写真は赤崎が撮影した。
4. 出土した遺物については、岩戸山歴史資料館で整理を行い、保管している。
5. 本書の執筆、編集は赤崎が行った。

本文目次

1. はじめに	1
2. 位置と環境	3
3. 発掘調査の概要	5

1. はじめに

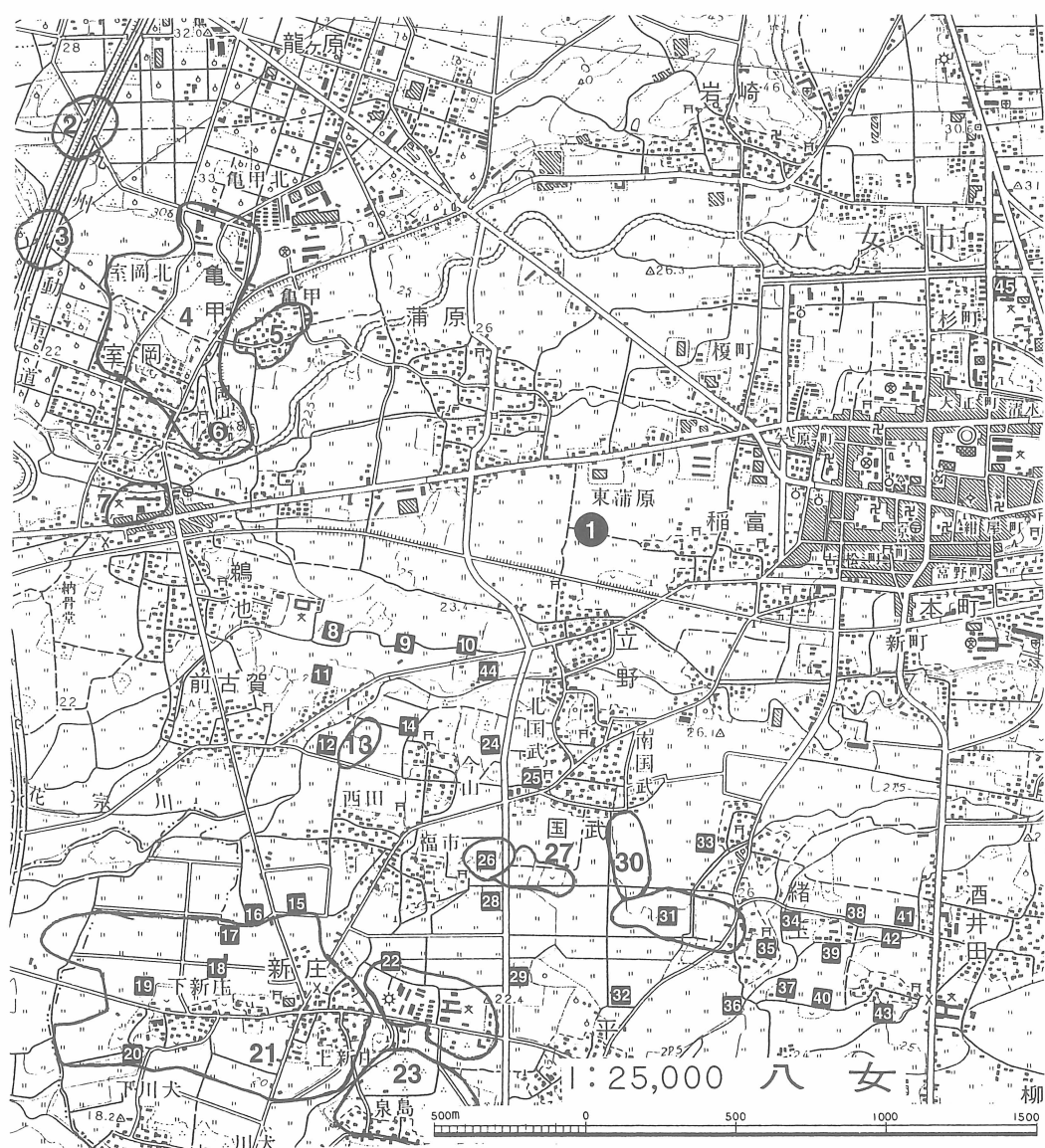
一竿遺跡は福岡県八女市大字立野字一竿・字西田に所在する。

調査の発端は、八女市土地開発公社が、立野集落の西側に広がる水田32,000㎡に住宅を建設する計画がなされたことによる。平成8年2月22日に行った試掘調査で、一竿地区より弥生時代を中心とした土壌と溝が発見され、遺物も出土している。北側に隣接した西田地区にも試掘調査を実施したが、ほとんど遺構が発見されなかった。また、当該地は1m程度の盛土が行われる予定であり、遺構面まで住宅の工事が達しないことが判明した。また、一竿地区は緑地等で保存される事となったため、西田地区の道路敷地部分のみ調査を実施する事となり、平成8年4月23日付けで発掘届が提出された。

発掘調査は平成8年10月14日に開始したが、予想に反して道路敷地部分より弥生時代の遺構や遺物が数多く発見されたため、平成8年11月28日に終了した。

調査関係者は次のとおりである。

八女市土地開発公社	理事長	小 川 勲
	事務局長	松 延 繁 太 (2月まで)
	事務局員	諸 富 和 生
八女市教育委員会	教育長	田 中 英 治
	〃	樋 口 欽 一
	生涯学習課長	小 川 勲 (2月まで)
	生涯学習課長補佐 兼文化財係主任	杉 山 信 行
	文化財係長	下 川 文比古
	文化財係	赤 崎 敏 男 (調査担当)
	文化財係	大 塚 恵 治
	文化財係嘱託	中 川 寿賀子
		山 田 朗 子



- | | | | | |
|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 一竿遺跡 | 10. 立野・六反田遺跡 | 19. ヒヤケ遺跡 | 28. 中里遺跡 | 37. 水洗遺跡 |
| 2. 西中沢遺跡 | 11. 五反田遺跡 | 20. 六反田遺跡 | 29. 上島町遺跡 | 38. 深田遺跡 |
| 3. 坊野遺跡 | 12. 川原遺跡 | 21. 新庄遺跡群 | 30. 前田・大坪遺跡 | 39. 二反田遺跡 |
| 4. 室岡遺跡群 | 13. 井手田遺跡 | 22. 大石本遺跡 | 31. 打越遺跡 | 40. 宮ノ前遺跡 |
| 5. 亀ノ甲東原遺跡 | 14. 井手口遺跡 | 23. 泉島遺跡 | 32. 新替遺跡 | 41. 京田遺跡 |
| 6. 岡山公園古墳 | 15. 西田前遺跡 | 24. 篠原遺跡 | 33. 袴田遺跡 | 42. 京田遺跡 |
| 7. 岡山小学校庭遺跡 | 16. 水町遺跡 | 25. 松本遺跡 | 34. 野田遺跡 | 43. 石町遺跡 |
| 8. 樋の口遺跡 2 次 | 17. 吉書田遺跡 | 26. 前田・大坪遺跡 | 35. 緒玉天満宮遺跡 | 44. 立野・大坪遺跡 |
| 9. 土穴遺跡 | 18. 宮ノ后遺跡 | 27. 国武遺跡 | 36. 宿町遺跡 | 45. 福島中学校庭遺跡 |

第 1 図 一竿遺跡調査地点位置図と周辺の遺跡 (1/25,000)

2. 位置と環境

一竿遺跡は、矢部川によって形成された沖積平野上にある。付近の標高は24 m前後で、東から西に向かってわずかずつであるが標高が下がる。北側1.2 kmの所には八女丘陵から派生した、台地が広がっており、台地の縁辺には弥生時代の遺跡と墓地が集中して発見されている。

遺跡の北側には国道442号線が東西に走るという交通の要所であり、このため、最近になって、国道沿いは店舗や工場が多く建設され、また、並行する旧矢部線の道路改良が進み、周辺に住宅が多く建設されている。また南側と西側は八女西部地区圃場整備、八女南部第二地区圃場整備が実施され、これに伴って埋蔵文化財の発掘調査も実施している。

周辺の弥生時代の遺跡として西側台地上に「亀ノ甲式土器」の標識遺跡である室岡遺跡群（山ノ上遺跡、北小路遺跡）、南西500 mの所には圃場整備事業に伴う発掘調査によって発見された立野・大坪遺跡があり、弥生時代前期の二重環濠、貯蔵穴、竪穴住居、掘立柱建物などが発見された。南側700 mには篠原遺跡、松本遺跡があり、平成元年から2年にかけての調査で弥生時代を中心として竪穴住居62軒、掘立柱建物30棟、円形周溝遺構が発見されている。



第2図 一竿遺跡発掘調査前風景（南より）



第3図 一竿遺跡調査位置図 (1/5,000)

3. 発掘調査の概要

平成8年7月2日に実施した試掘調査の結果、計画地内の東側と南側に当たる地区で遺構、遺物が発見された。この結果に基づいて八女市土地開発公社と協議した結果、南側については緑地等として保存される方針が示された。このため、東側地区内の住宅建設によって敷設される、道路敷き部分2,000㎡についてのみ調査を実施する事となった。なお、調査地の東西に走る里道より西側については試掘調査の結果遺構、遺物が発見されなかったため調査地区から除外した。

1. 遺 構

今回の調査は、広い敷地内の道路敷き部分という、限られた調査であつたが予想に反して、弥生時代の竪穴住居2軒、掘立柱建物2棟、土壇60基、溝1条、柱穴多数、歴史時代の遺構として、溝3条と数多くの遺構、遺物が発見された。しかし、限られた部分の調査のため、集落全体の構造を知る事ができなかった。

竪穴住居

竪穴住居は調査区のほぼ中央の北側と南側で2軒検出した。いずれも削平によって床面部分のみしか残っていなかったが、SB04からは多くの遺物が出土した。

SB01（第5図）SK08を切ってつくられている。SB01の大半は未調査のため不明な点が多いが一辺が2.3mあり小形の竪穴住居と思われる。床面まで壁は6cmから9cm程度しか残っていない。床面はほぼ平坦で、柱穴は不明である。出土遺物として、土器は出土しなかったが、黒曜石の剥片、サヌカイトの剥片が出土している。

SB04（第6、14、15、36、37図）調査区の南側より発見。南北の長さ5.5m、東西の長さ5.5m、ほぼ方形の竪穴住居である。大きく削平を受けており、床面まで壁は7cmから10cm程度しか残っていない。床面はほぼ平坦で、柱穴や炉は不明である。出土遺物は竪穴住居東側の床面に集中しており、壺形土器片、壺形土器蓋片と甕形土器、椀形土器片など土器が多く出

土したほか、サヌカイト製石鏃2、砂岩製砥石、すり石、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が多く出土している。

掘立柱建物

掘立柱建物は調査区の東側より2棟検出した。いずれも1間×1間の建物で棟方向も同じで両掘立柱建物の距離は6m程しか離れていない。このため、ほぼ同時期に存在したものと思われる。

SB02 (第7, 14図) SK28と切り合っているが、前後関係は不明である。桁行の方向は、ほぼ北東-南西で1間×1間の建物である。建物の規模は桁行3.5m、梁行3.4mで、柱穴の掘り方も一辺60cmから70cmあり、柱痕跡が25cm前後ある。

掘り方も、深さ50cmから70cmも残っている。掘り方内からの遺物の出土はほとんどないが、甕形土器片と黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

SB03 (第8図) 東側の柱穴は近代の溝SD02によって壊されているが、桁行の方向は、ほぼ北東-南西で1間×1間の建物である。建物の規模は桁行3.40m、梁行3.0mで、柱穴の掘り方も一辺40cmから50cmあり、柱痕跡が20cm前後ある。隣接するSB02よりも一回り小さい。掘り方も、深さ20cmから30cmも残っており、掘り方内からの遺物の出土はない。

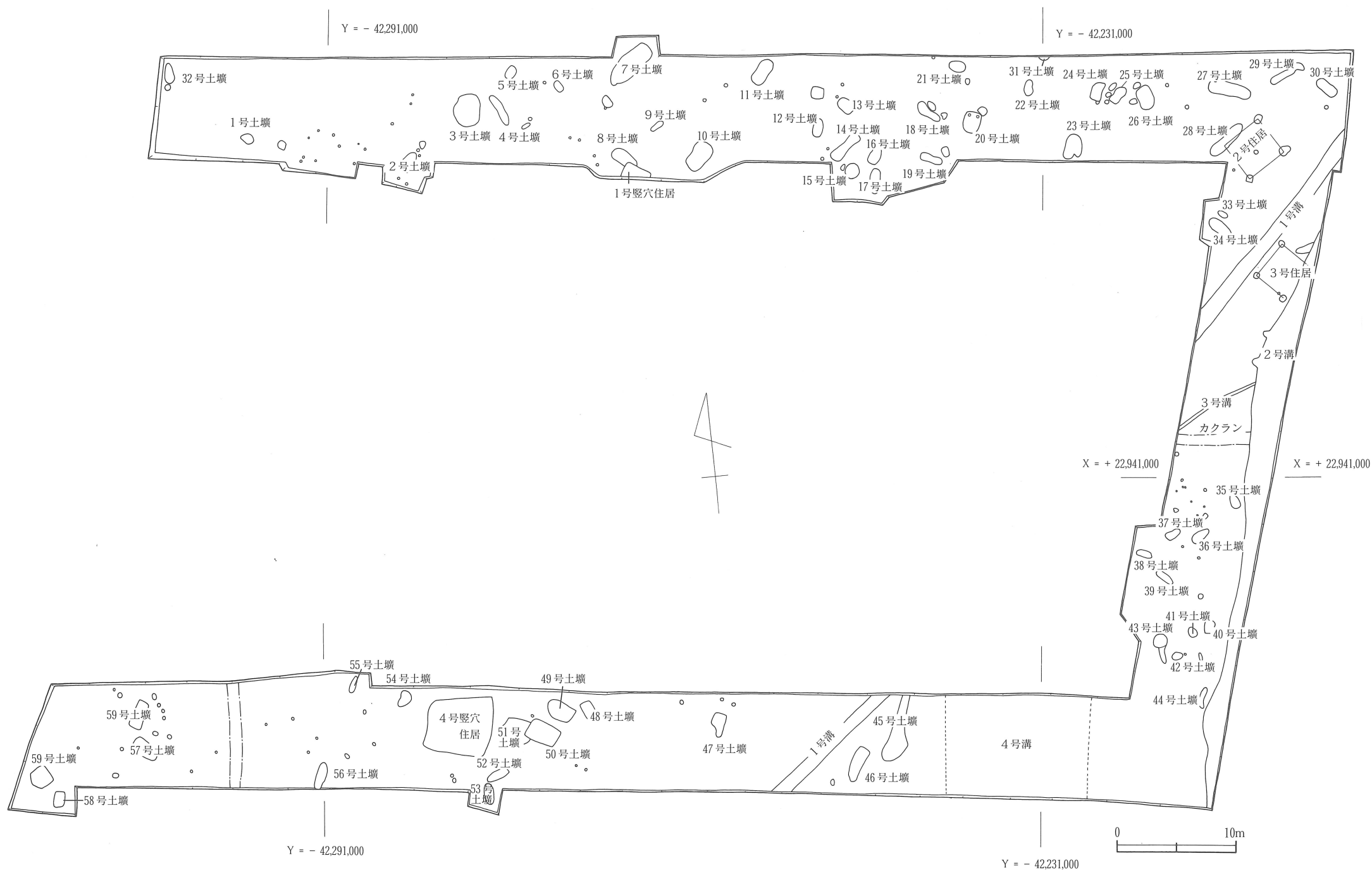
土壇

土壇は調査区のほぼ全域で検出された。数基つつ群をなすように分布するが、比較的西側が少ない。平面形は長方形、隅丸長方形が多く、大半を占める。わずかに、円形、楕円形が混じる。

SK01 (第9図) 隅丸長方形で長さ1.05m、幅0.8mと小形土壇。遺物として甕片が少量出土している。

SK02 (第9, 16, 37図) 長方形で長さ1.8m、幅1.05mとやや小形の土壇。出土遺物は南側に集中しており、甕形土器片と甕形土器を用いた甕片などがやや多く出土したほか、石皿、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

SK03 (第9図) 隅丸長方形で円形に近い。長さ2.75m、幅2.25mの土壇。出土遺物として、土器は出土しなかったが、すり石、サヌカイトの剝片が出土している。



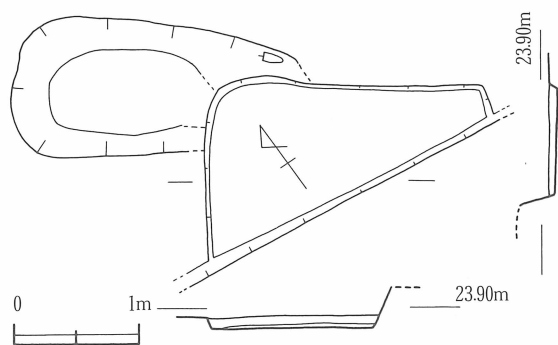
第4図 一竿遺跡遺構配置図 (1/400)

SK04 (第9図) 幅の狭い長方形で長さ2.85m、幅0.55mの土壇。出土遺物として、わずかに碗形土器片が出土した。

SK05 (第9図) 長方形で長さ1.05m、幅0.7mと小形の土壇。出土遺物として、土器は出土しなかったが、黒曜石の剥片、サヌカイトの剥片、片岩片が出土している。

SK06 (第9図) 長方形で長さ1.0m、幅0.55mと小形の土壇。出土遺物はない。

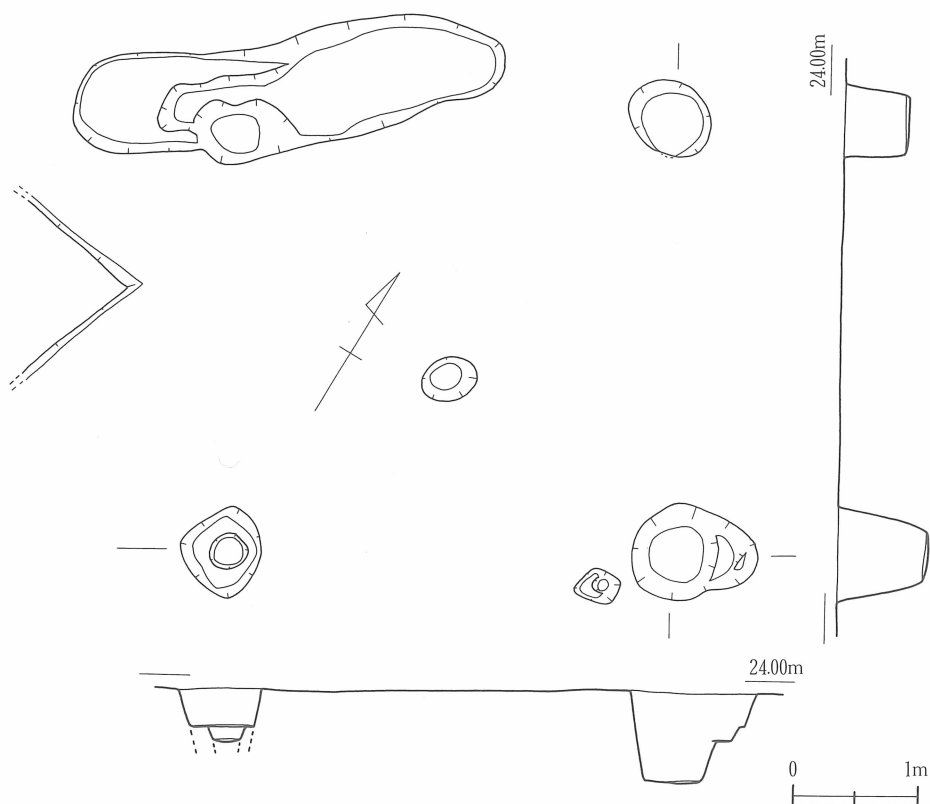
SK07 (第9, 17, 18, 36, 37図) 長方形で長さ4.4m、幅1.7mと大形の土壇床面に炭化物が多く残っており、遺物もこの部分に集中していた。出土遺物として、壺形土器片、壺形土器蓋片と甕形土器、甕形



第5図 竪穴住居 (SB01) (1/60)



第6図 竪穴住居 (SB04) (1/60)



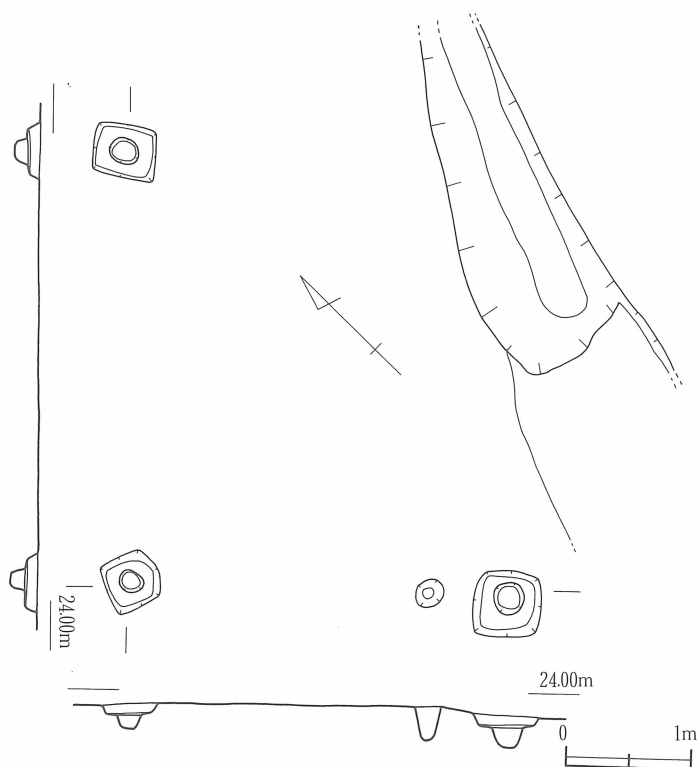
第7図 掘立柱建物 (SB02) (1/60)

土器蓋片など土器が多く出土したほか、石皿、片岩製の石包丁、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

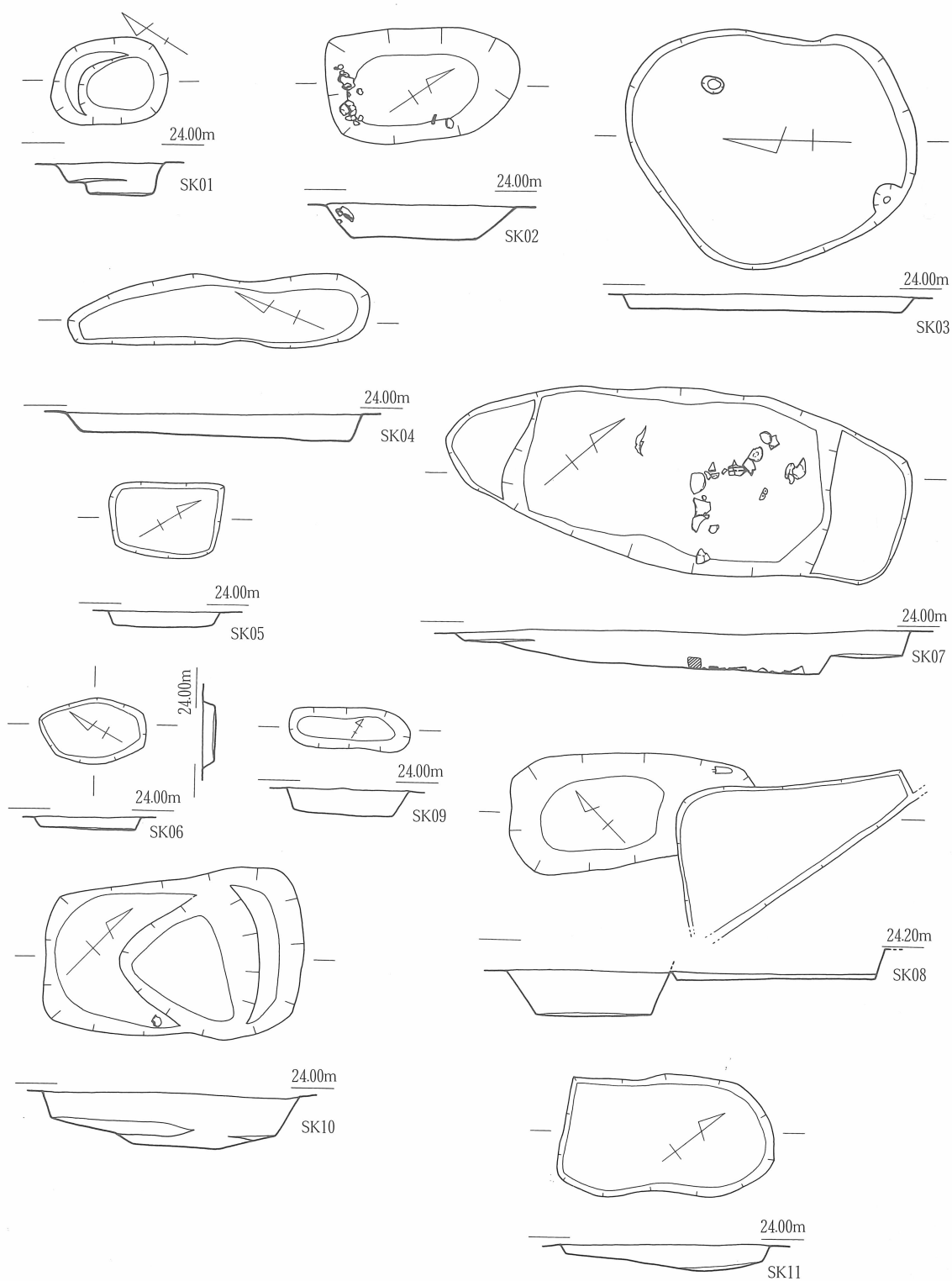
SK08 (第9, 19図) SB01によって切られている。長方形で長さ1.5m以上、幅1.1mの土壇。出土遺物として、土器片がわずかに出土した。

SK09 (第9図) 幅の狭い長方形で長さ1.15m、幅0.4mの土壇。出土遺物はない。

SK10 (第9, 19図) 長方形で長さ2.4m、幅1.45mとや



第8図 掘立柱建物 (SB03) (1/60)



第9図 土坑 (SK01 ~ SK11) (1/60)

や大形の土壇。出土遺物として、甕形土器片と壺形土器蓋片など土器がわずかに出土したほか、すり石、サヌカイトの剥片が出土している。

SK11 (第9図) 長方形で長さ2.0m、幅1.05mの土壇で、中央部が一段深い。出土遺物として、甕形土器片がわずかに出土したほか、サヌカイトの剥片が出土している。

SK12 (第10, 20図) SK13、14、15、16は近接している。隅丸長方形で長さ1.65m、幅0.8mとやや小形の土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器を用いた甕片などが少量出土したほか、サヌカイト製扁平石斧未製品が出土している。

SK13 (第10, 20図) 長方形で長さ1.4m、幅1.0mとやや小形の土壇。出土遺物は南側床面に集中しており、壺形土器片と甕形土器がやや多く出土したほか、すり石が出土している。

SK14 (第10, 21図) 幅の狭い長方形で長さ3.0m、幅0.65mと大形の土壇。出土遺物は中央と北側の床面より浮いており、大形壺形土器片と壺形土器片、甕形土器片、甕形土器蓋片などがやや多く出土したほか、砂岩製砥石が出土している。

SK15 (第10図) 円形で直径1.4 - 1.25mとやや小形の土壇。出土遺物はない。

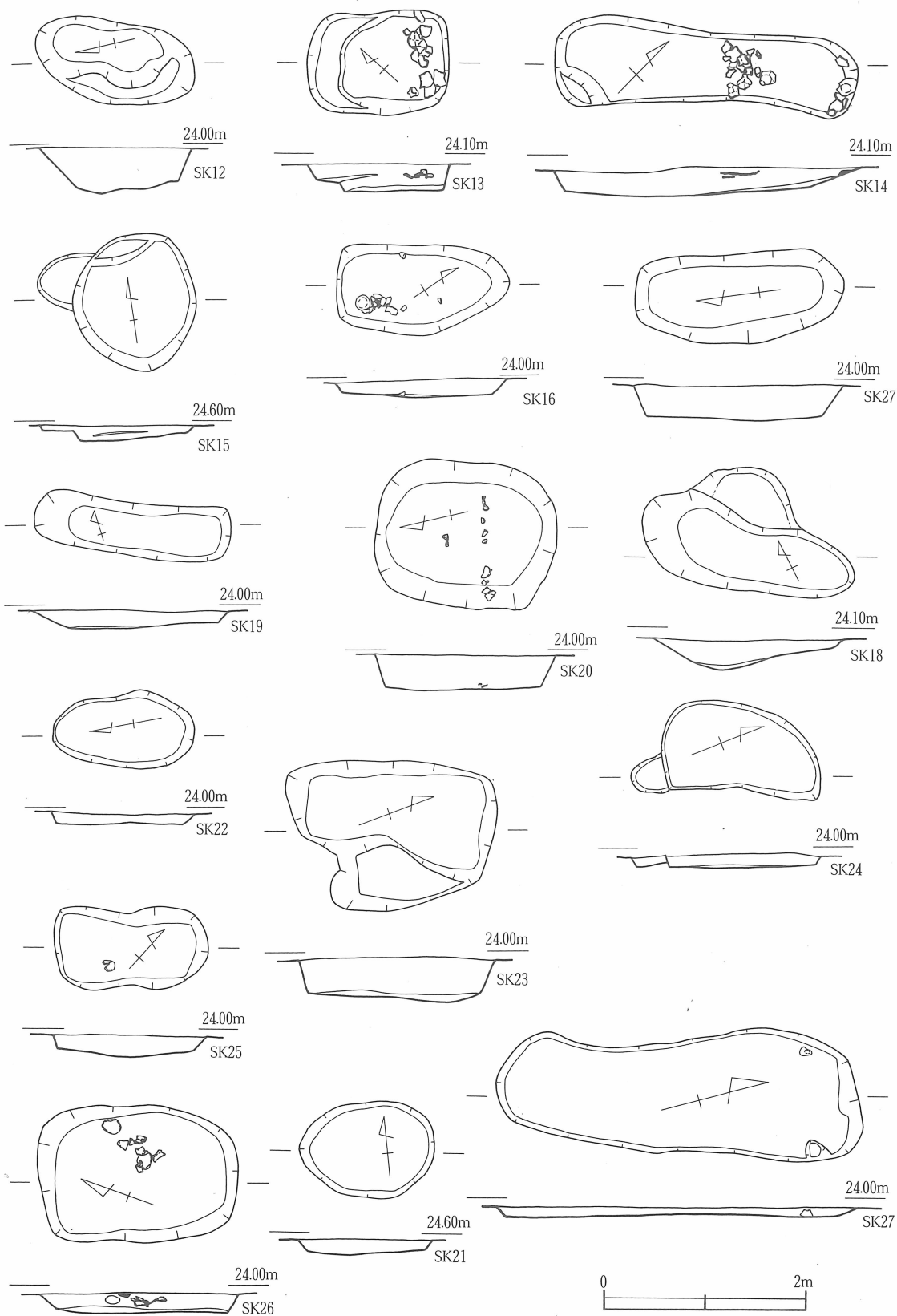
SK16 (第10, 22図) 長方形で長さ1.7m、幅0.9mとやや小形の土壇。出土遺物は南側の床面より浮いており、壺形土器片と甕形土器を用いた甕片などがやや多く出土したほか、すり石が出土している。

SK17 (第10, 22図) 幅のやや狭い長方形で長さ2.05m、幅0.95mの土壇。出土遺物として壺形土器片と甕形土器片が少量出土した。

SK18 (第10, 22図) 幅のやや狭い長方形で長さ2.2m、幅0.7mの土壇。出土遺物として、壺形土器片、甕形土器片と大形甕形土器片がやや多く出土した。

SK19 (第10, 22図) 幅のやや狭い長方形で長さ1.94m、幅0.53mの土壇。出土遺物として、甕形土器片が少量出土した。

SK20 (第10, 23図) 隅丸長方形で長さ1.8m、幅1.55mの土壇。出土遺物として、壺形土器片、甕形土器片と甕形土器蓋片が少量出土したほか、すり石、黒曜石の剥片が出土している。



第10図 土坑 (SK12～SK27) (1/60)

SK21 (第10図) 隅丸長方形で長さ1.3m、幅0.95mとやや小形の土壇。出土遺物はない。

SK22 (第10図) 隅丸長方形で長さ1.4m、幅0.7mとやや小形の土壇。出土遺物はない。

SK23 (第10, 23, 36図) 長方形で長さ2.1m、幅1.5mの土壇。出土遺物として、壺形土器蓋片、甕形土器片などが少量出土したほか、すり石、黒曜石製石鏃、サヌカイト製石鏃、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

SK24 (第10, 23図) SK25、26と近接する。長方形で長さ1.6m、幅0.8mの土壇。出土遺物として、甕形土器片がわずかに出土した。

SK25 (第10, 23図) 長方形で長さ1.5m、幅0.7mの土壇。出土遺物は床面に接して、甕形土器片が少量出土したほか、サヌカイトの剝片が出土している。

SK26 (第10, 23図) 長方形で長さ1.95m、幅1.3mの土壇。出土遺物は床面よりやや浮いて、高杯片、器台片、壺形土器片と甕形土器片などがやや多く出土したほか、すり石、石皿が出土している。

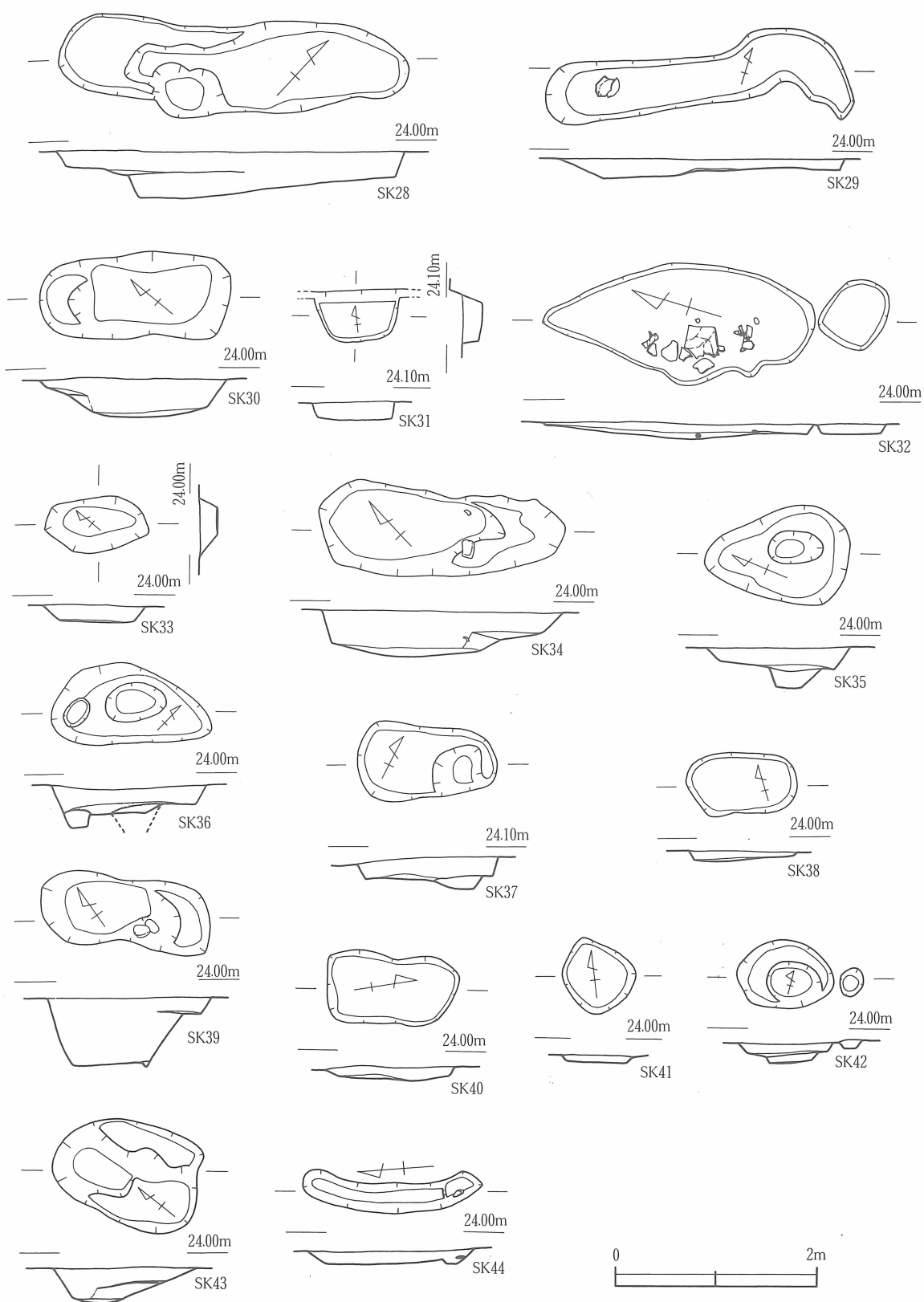
SK27 (第10図) 幅の狭く長めの長方形で長さ3.65m、幅1.1mの土壇。出土遺物はない。

SK28 (第11, 24図) 幅の狭く長めの長方形で長さ3.45m、幅0.85mの土壇でSB02と切合っているが前後関係は不明。出土遺物は壺形土器片、丹塗の壺形土器片と甕形土器片などがやや多く出土したほか、すり石4個が出土している。

SK29 (第11, 24図) 幅の狭く長めの長方形で長さ2.95m、幅0.45mの土壇。出土遺物として、甕形土器片が少量出土した。

SK30 (第11, 24図) 長方形で長さ1.87m、幅0.8mの土壇。出土遺物として、甕形土器片と甕形土器蓋片が少量出土した。

SK31 (第11図) 北側が未調査のため規模等は不明であるが、長方形でやや小形の土壇と思われる。出土遺物はない。



第11図 土坑 (SK28 ~ SK44) (1/60)

SK32 (第11, 24, 32図) 長方形で長さ2.7 m、幅1.2 mの土壇。出土遺物は床面より、高杯片、器台片、甕形土器片と大形甕形土器片などがやや多く出土した。

SK33 (第11, 25図) SK34と並んでおり、隅丸長方形で長さ1.0 m、幅0.5 mとやや小形の土壇。出土遺物として、甕形土器片がわずかに出土した。

SK34 (第11, 25図) 幅の狭い長方形で長さ2.4 m、幅0.75 mの土壇。出土遺物として壺形土器片と甕形土器片が少量出土したほか、すり石が数多く出土している。

SK35 (第11, 25図) 隅丸長方形で長さ1.4 m、幅0.8 mの土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片が少量出土したほか、サヌカイト製スクレイパー、サヌカイトの剥片が出土している。

SK36 (第11図) 楕円形で長さ1.5 m、幅0.6 mの土壇。出土遺物はない。

SK37 (第11図) 長方形で長さ1.4 m、幅0.65 mの土壇。出土遺物はない。

SK38 (第11, 25図) 長方形で長さ1.1 m、幅0.6 mと小形の土壇。出土遺物として、甕形土器片が少量出土した。

SK39 (第11, 25図) 幅の狭い長方形で長さ1.7 m、幅0.6 mの土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片がわずかに出土している。

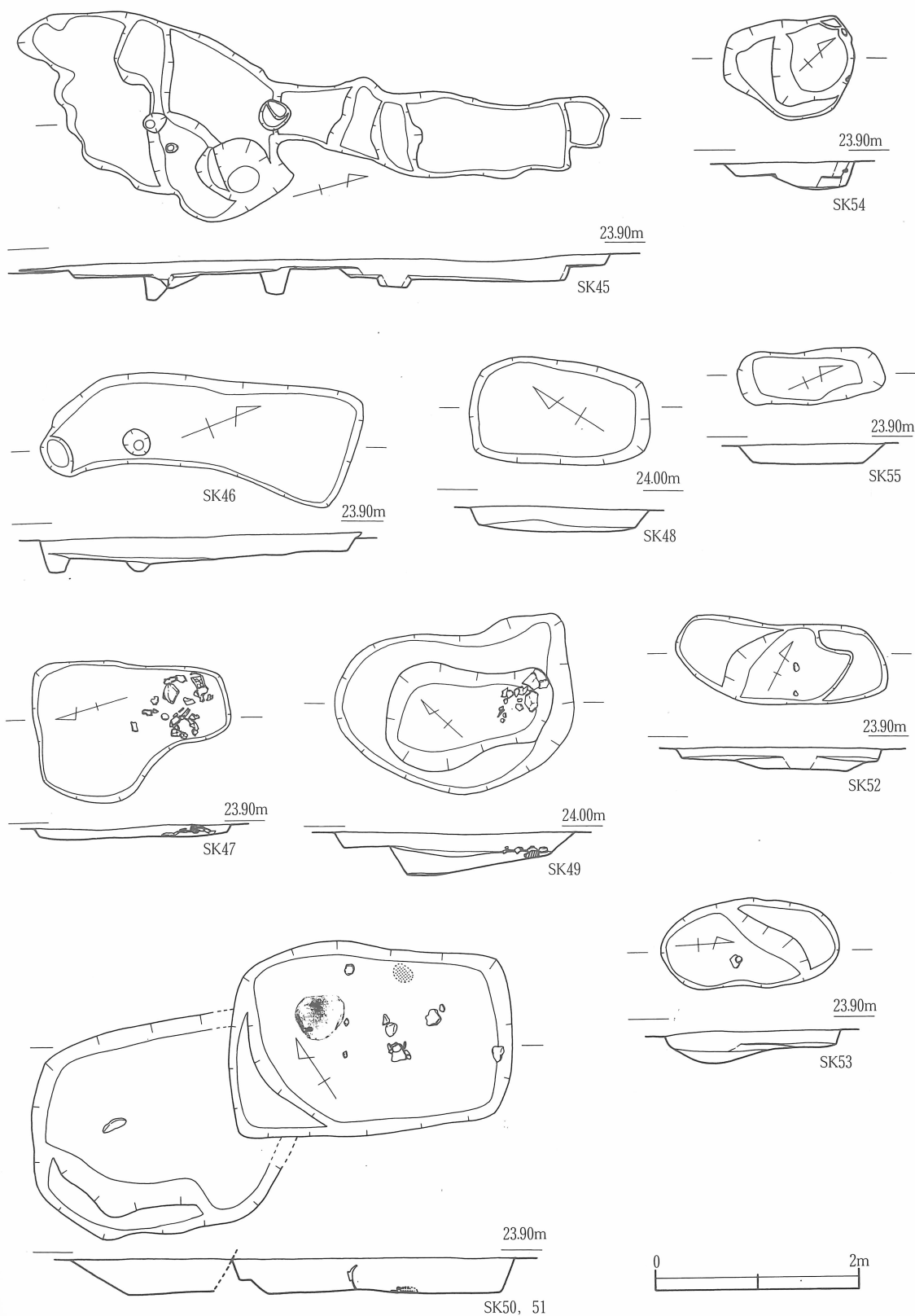
SK40 (第11, 25, 36図) 長方形で長さ1.3 m、幅0.6 mの土壇。出土遺物として、甕形土器片と壺形土器片が少量出土したほか、サヌカイト製の石鏃が出土している。

SK41 (第11図) 円形で直径0.7 mと小形の土壇。出土遺物はない。

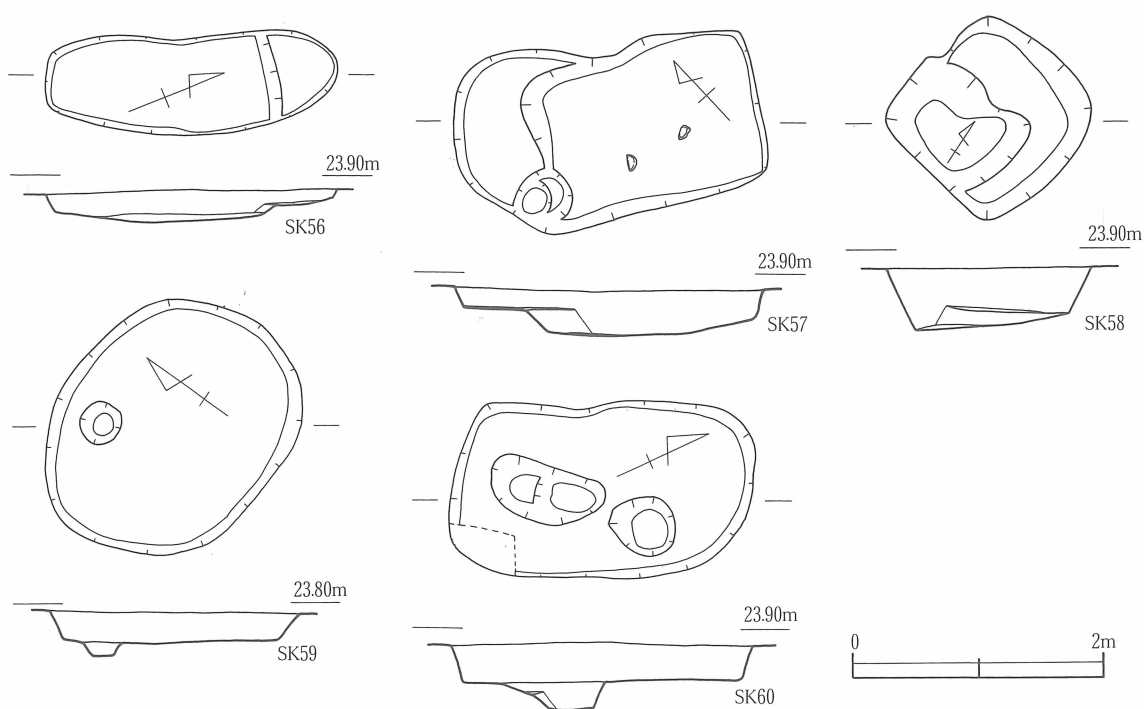
SK42 (第11, 25図) 楕円形で長さ0.95 m、幅0.66 mと小形の土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片がわずかに出土したほか、サヌカイトの剥片が出土している。

SK43 (第11図) 長方形で長さ1.45 m、幅1.0 mの土壇。出土遺物はない。

SK44 (第11図) 不整形で溝状となる。長さ1.77 m、幅0.28 mの土壇。出土遺物はない。



第12図 土坑 (SK45 ~ SK55) (1/60)



第13図 土坑 (SK56～SK60) (1/60)

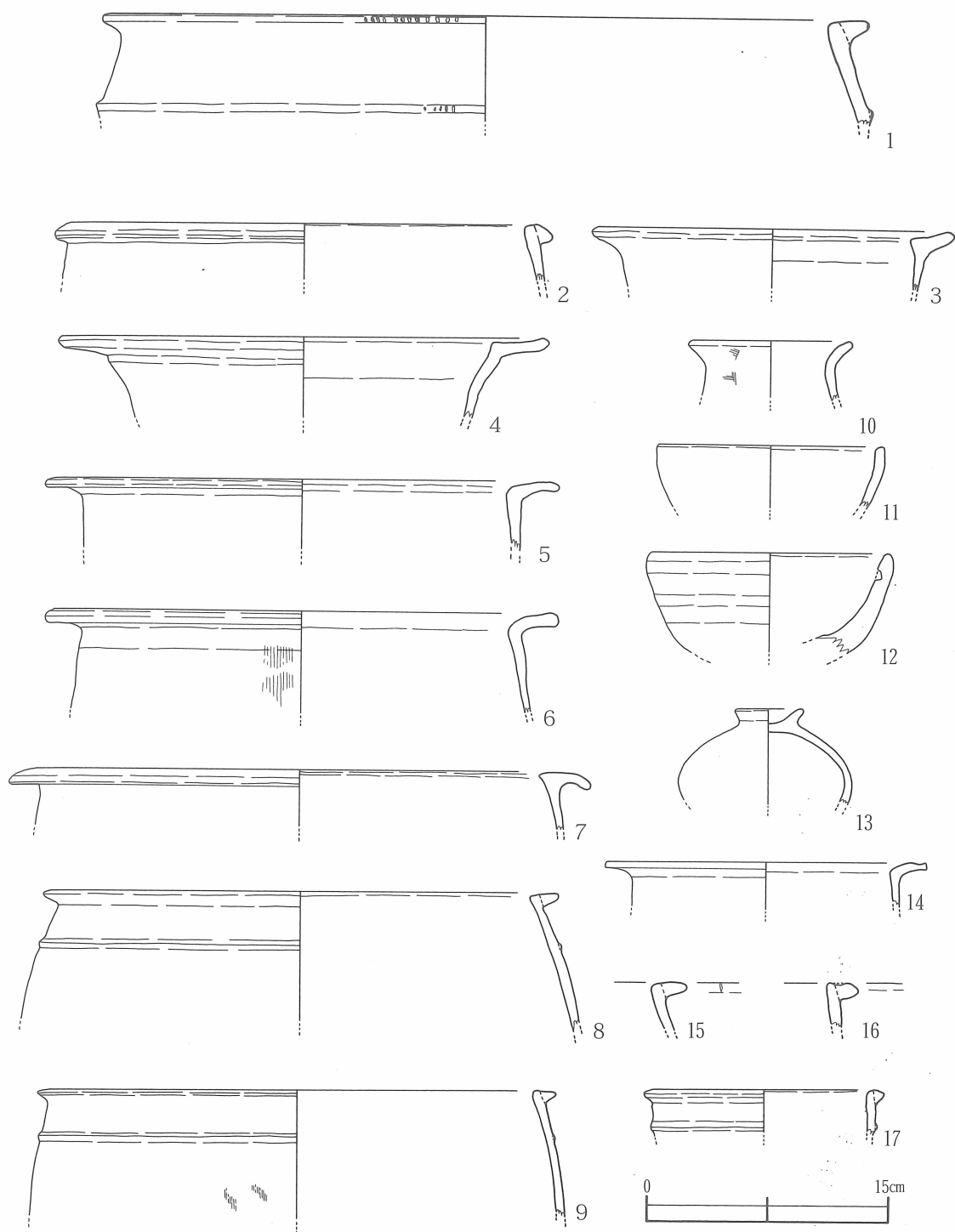
SK45 (第12, 25図) 長方形で長さ4.5m、幅0.55～0.65mの土坑で一部攪乱を受けている。出土遺物として、大形の壺形土器片と甕形土器片などが少量出土したほか、サヌカイトの剝片が出土している。

SK46 (第12, 26, 35図) 長方形で長さ3.05m、幅0.88mとやや大形の土坑。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片、大形の甕形土器片などが少量出土したほか、土製紡錘車1、サヌカイトの剝片が出土している。

SK47 (第12, 26, 37図) 長方形で長さ1.9m、幅0.9mの土坑。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片、大形支脚片などがやや多く出土したほか、砂岩製の砥石が出土している。

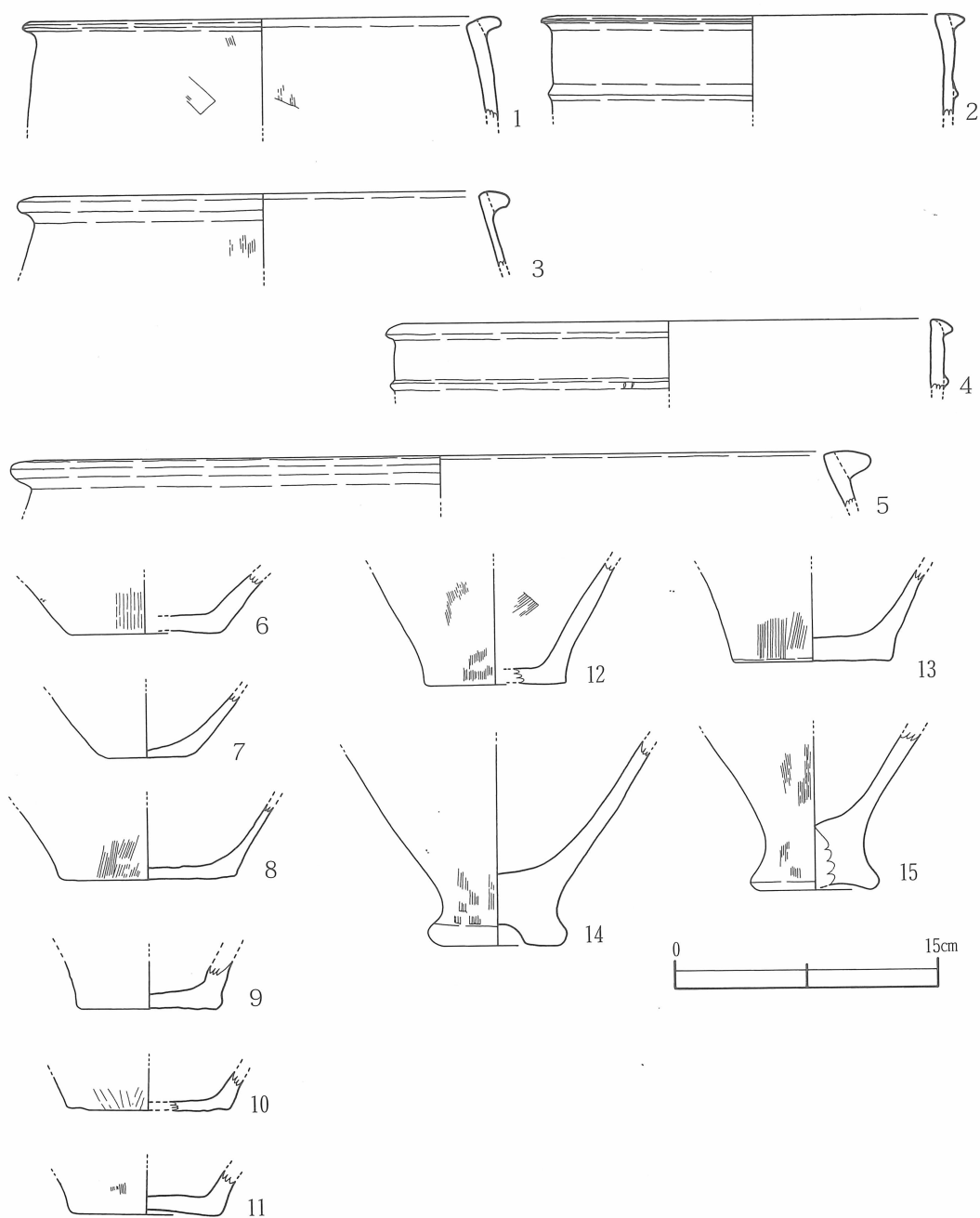
SK48 (第12, 26図) 長方形で長さ1.65m、幅1.0mの土坑。出土遺物として、甕形土器片が少量出土した。

SK49 (第12, 27図) 長方形で長さ2.3m、幅1.5mとやや大形の土坑。出土遺物として、甕形土器片がやや多く出土した。



第14图 掘立柱建物 (SB02)
 竖穴住居 (04) 出土土器 (1/4)

1 (SB02)
 2 ~ 17 (SB04)

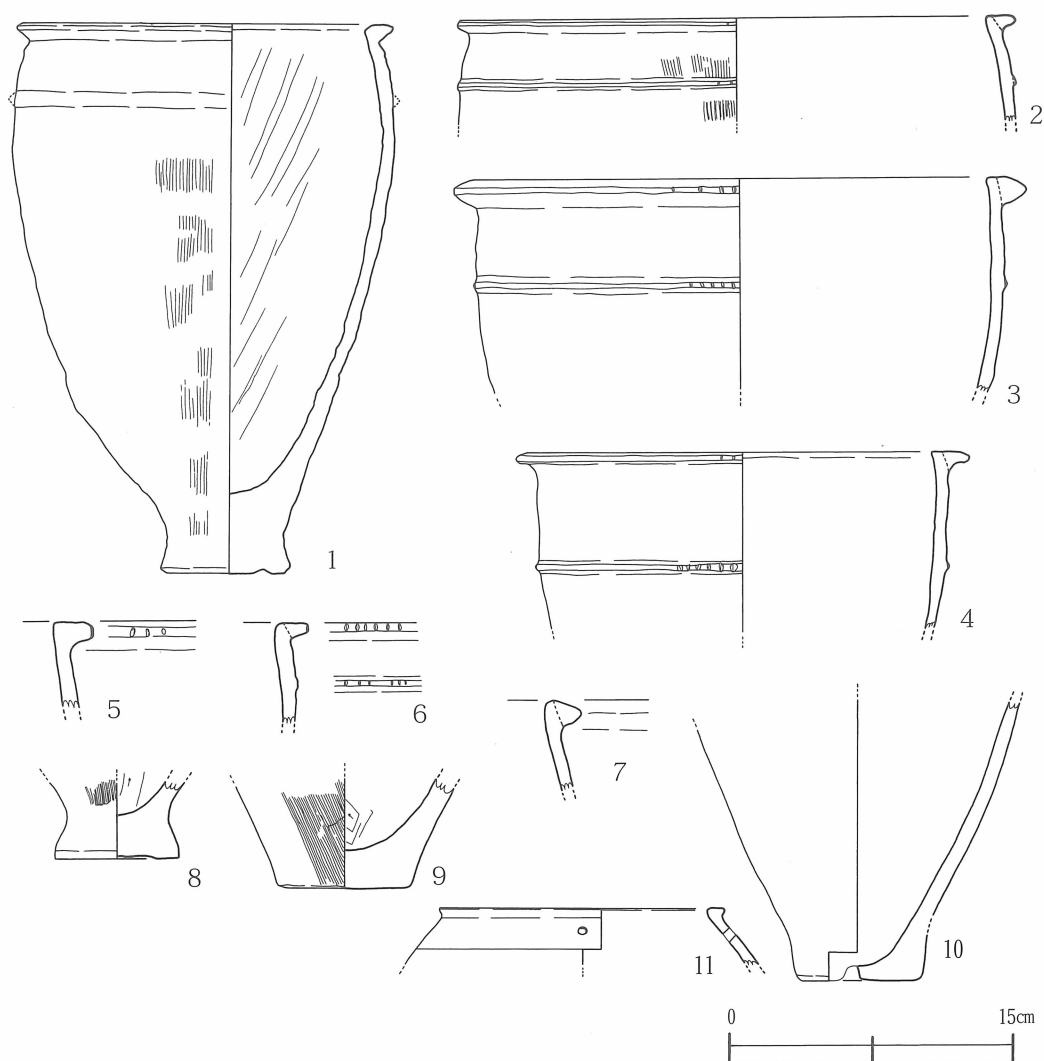


第15図 豎穴住居 (SB04) 出土土器 (1/4)

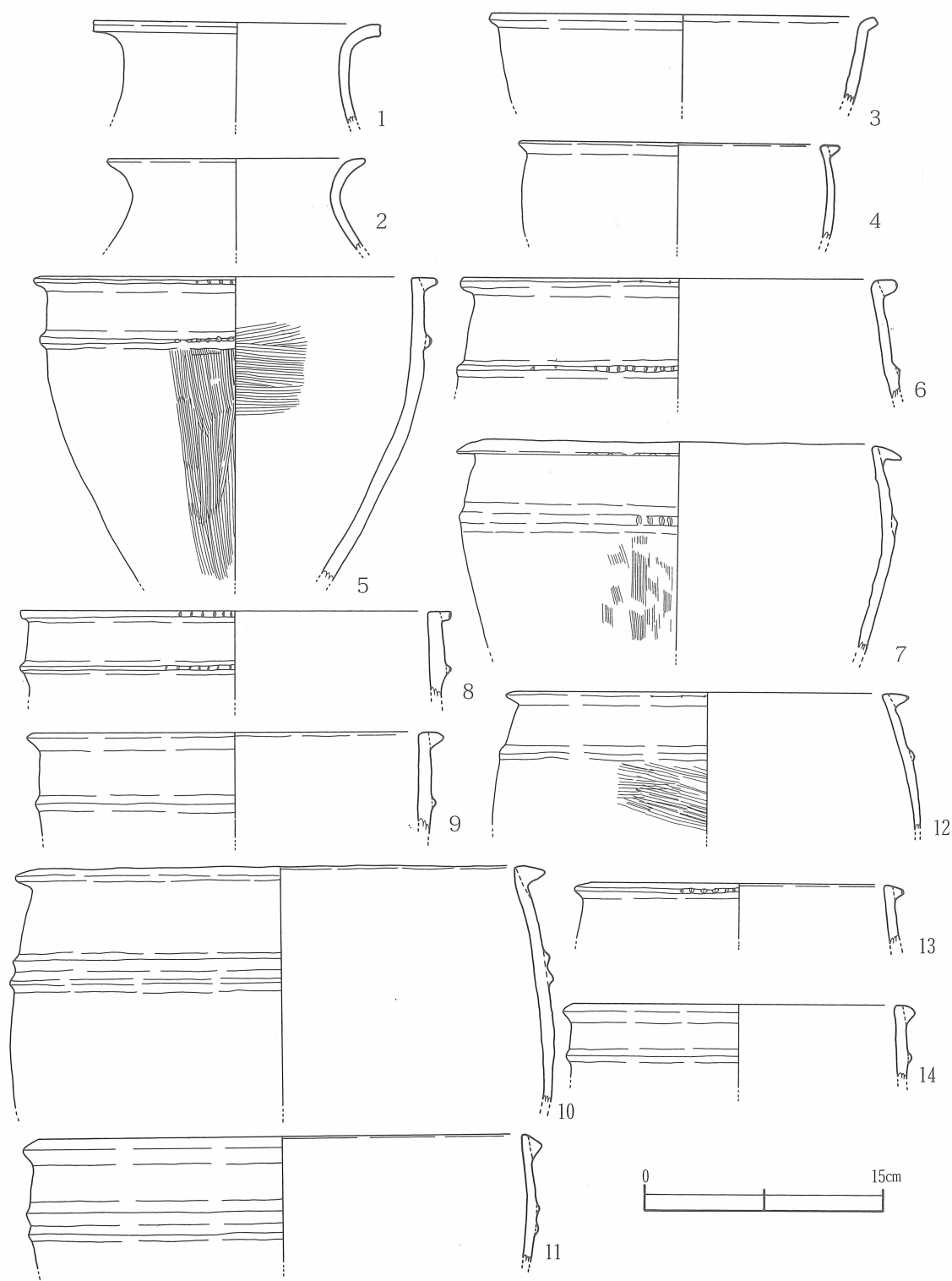
SK50 (第12, 27, 28図) 長方形で長さ2.75m、幅1.75mとやや大形の土壇でSK51を切っている。出土遺物は床面から炭化物をはじめ床面に接して、甕形土器片、甕形土器を用いた甕片、甕形土器蓋片と壺形土器片、大形の壺形土器片などが多量に出土したほか、石皿、すり石、砂岩製砥石片、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

SK51 (第12, 28, 29図) 長方形で長さ2.6m、幅2.05mとやや大形の土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片、甕形土器を用いた甕片などが多量に出土したほか、すり石、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

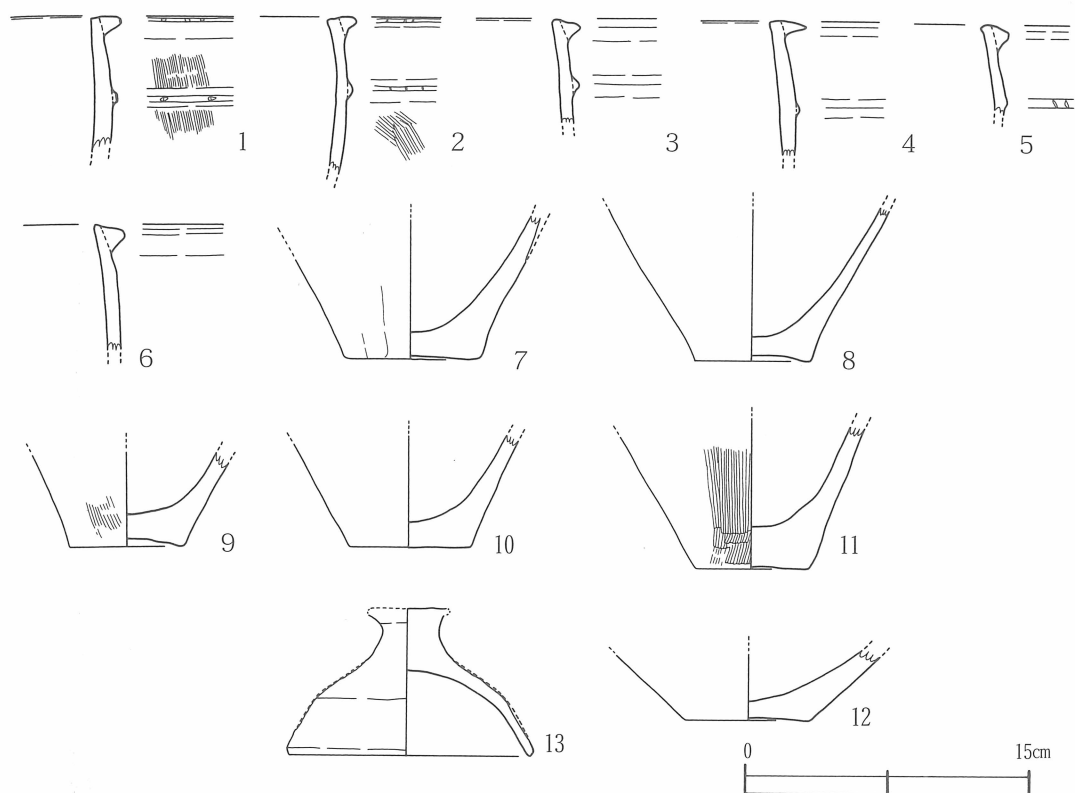
SK52 (第12, 30図) 長方形で長さ2.1m、幅0.8mとやや大形の土壇。出土遺物として、壺形土器片などがわずかに出土した。



第16図 土壇 (SK02) 出土土器 (1/4)



第17図 土壙 (SK07) 出土土器 (1/4)



第18図 土壌 (SK07) 出土土器 (1/4)

SK53 (第12, 30図) 隅丸長方形で長さ1.7m、幅0.8mの土壌。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片などが少量出土したほか、すり石、サヌカイトの剝片が出土している。

SK54 (第12, 30図) 隅丸長方形で長さ1.3m、幅0.9mの土壌。出土遺物として、甕形土器片と大形の甕形土器片が少量出土したほか、黒曜石の剝片が出土している。

SK55 (第12, 30図) 幅の狭い長方形で長さ1.4m、幅0.55mの土壌。出土遺物として、甕形土器片がわずかに出土した。

SK56 (第13, 30図) 幅の狭い長方形で長さ2.3m、幅0.75mの土壌。出土遺物として、甕形土器片が少量出土したほか、黒曜石の剝片、サヌカイトの剝片が出土している。

SK57 (第13, 31, 35図) 長方形で長さ1.75m、幅1.25mの土壌。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片などがやや多く出土したほか、土製紡錘車1、すり石、砂岩製砥石、黒曜石の剝片、サヌカイト製石鏃未製品、サヌカイトの剝片が出土している。

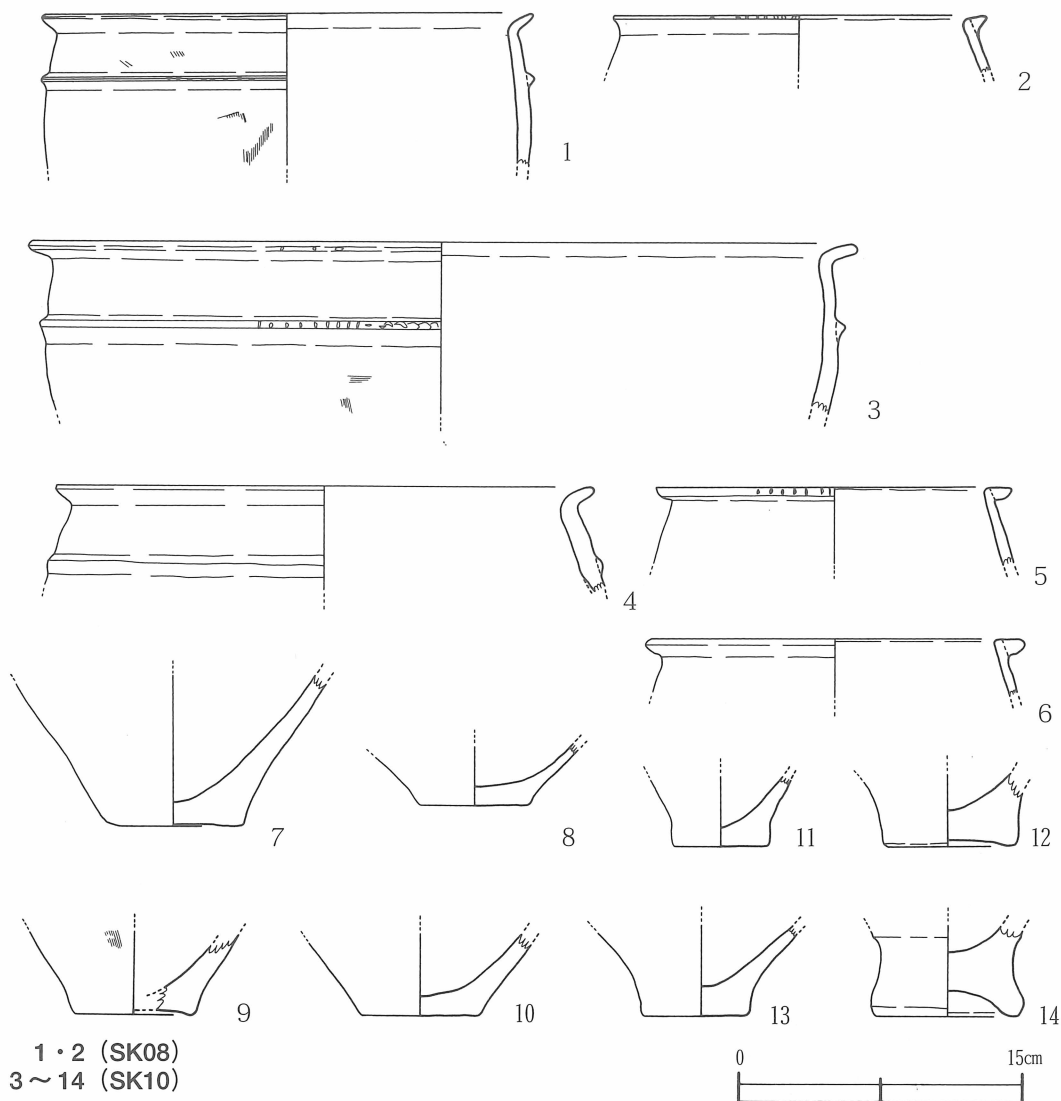
SK58 (第13, 35図) 方形で長さ1.4m、幅1.4mの土壌。出土遺物として、甕形土器

片が少量出土したほか、土製紡錘車1、黒曜石の剝片、サヌカイト製大形の石鏃、サヌカイトの剝片が出土している。

SK59 (第13図) 隅丸長方形で長さ2.25m、幅1.8mとやや大形の土壇。出土遺物として、甕形土器片がわずかに出土した。

SK60 (第13, 31図) 長方形で長さ2.4m、幅1.35mとやや大形の土壇。出土遺物として、壺形土器片と甕形土器片などがやや多く出土したほか、サヌカイトの剝片が出土している。

溝 (第33図)



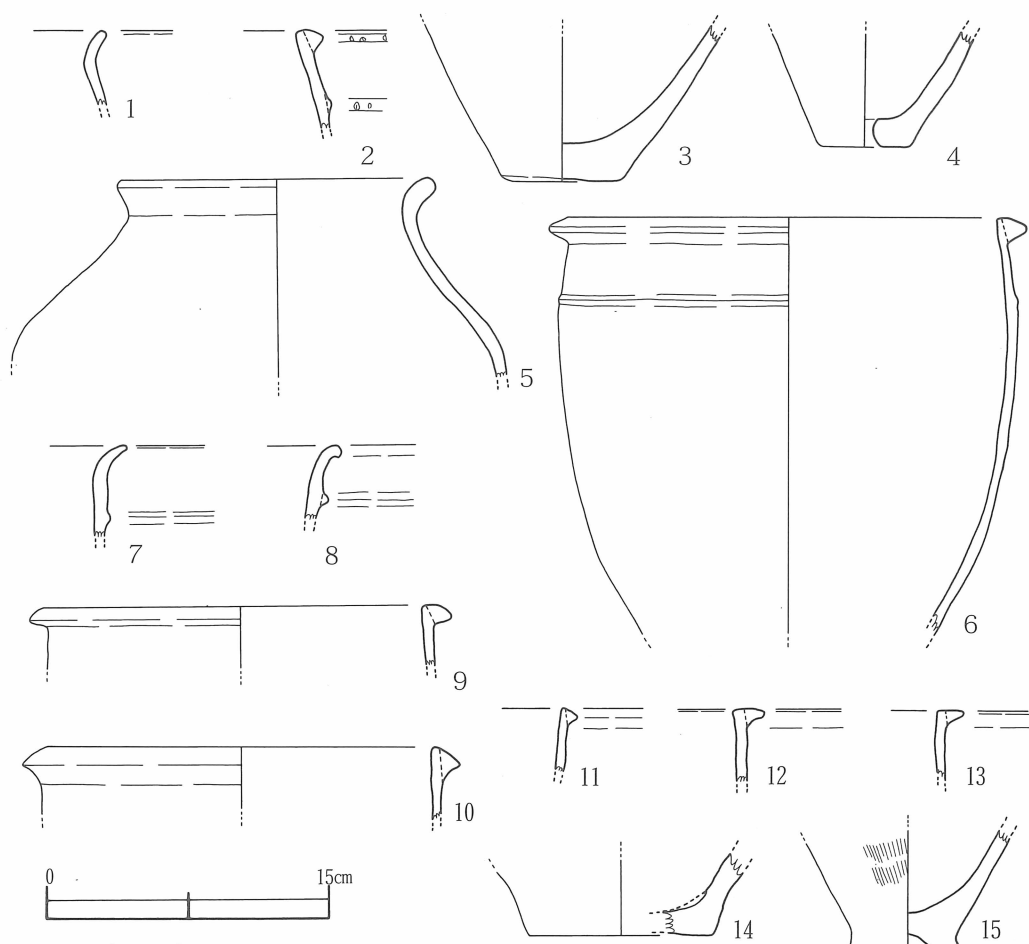
第19図 土壇 (SK08, 10) 出土土器 (1/4)

SD01 調査区の北東側から南西側にかけて検出された。幅はほとんど同じで、1 m前後、深さは0.3 m前後である。遺物は黒曜石の剝片以外ほとんど出土していないが、土師器の小片が発見されている所から、歴史時代の溝と考えられる。

SD02 調査区の北から南にかけて検出された近世の溝である。

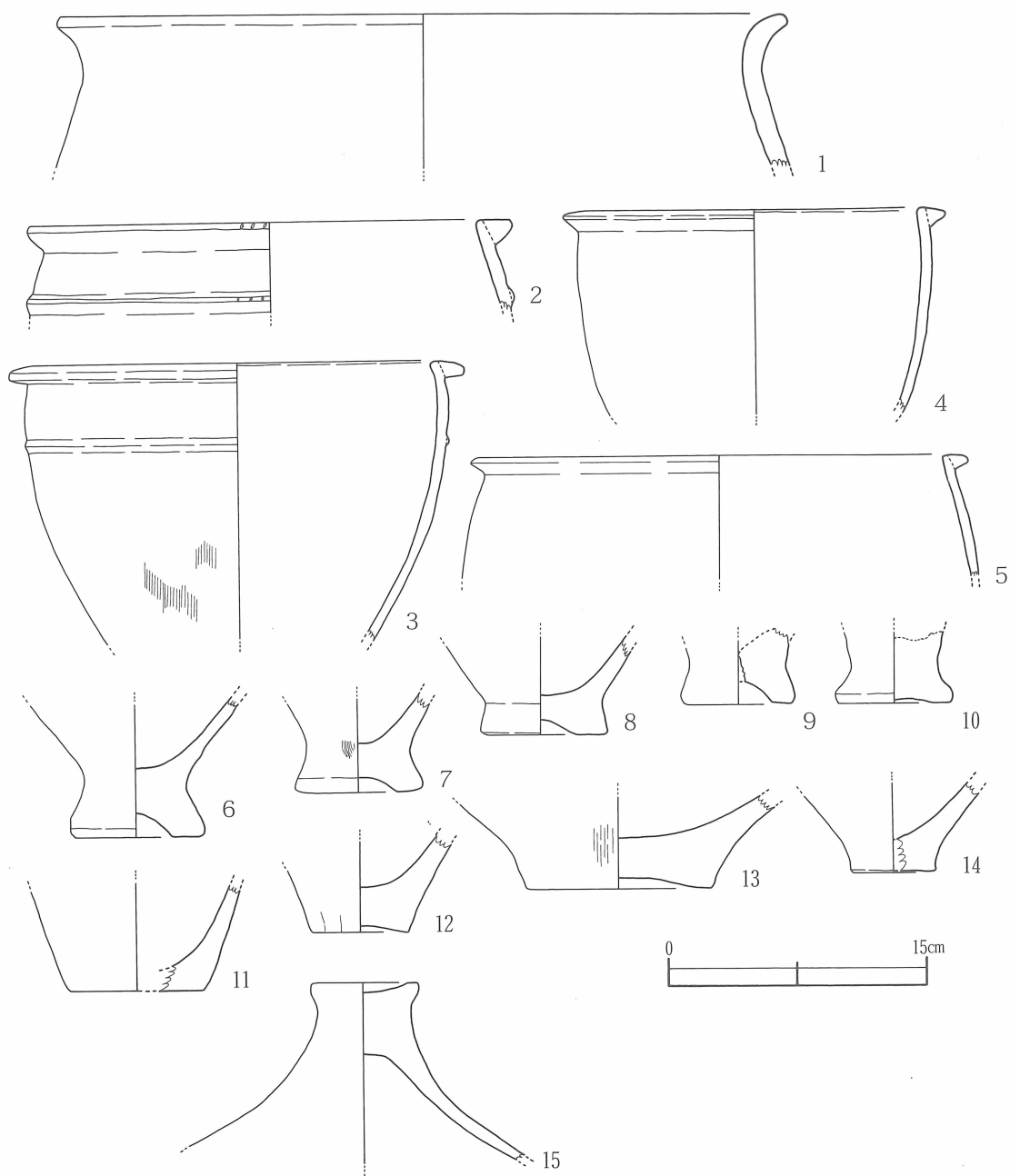
SD03 調査区の北東から南西にかけて検出された近世の小溝である。

SD04 調査区の南側で検出された。東側と北側では検出されていないため短い溝と考えられる。深かったため溝の一部を掘り下げただけであるが、幅が広く約10m前後、深さは1.5 m前後で湧水が多い。遺物は弥生時代の壺形土器片と大形の壺形土器片、甕形土器片、筒形器台脚部片出土したほか、自然遺物として木の枝も出土している。

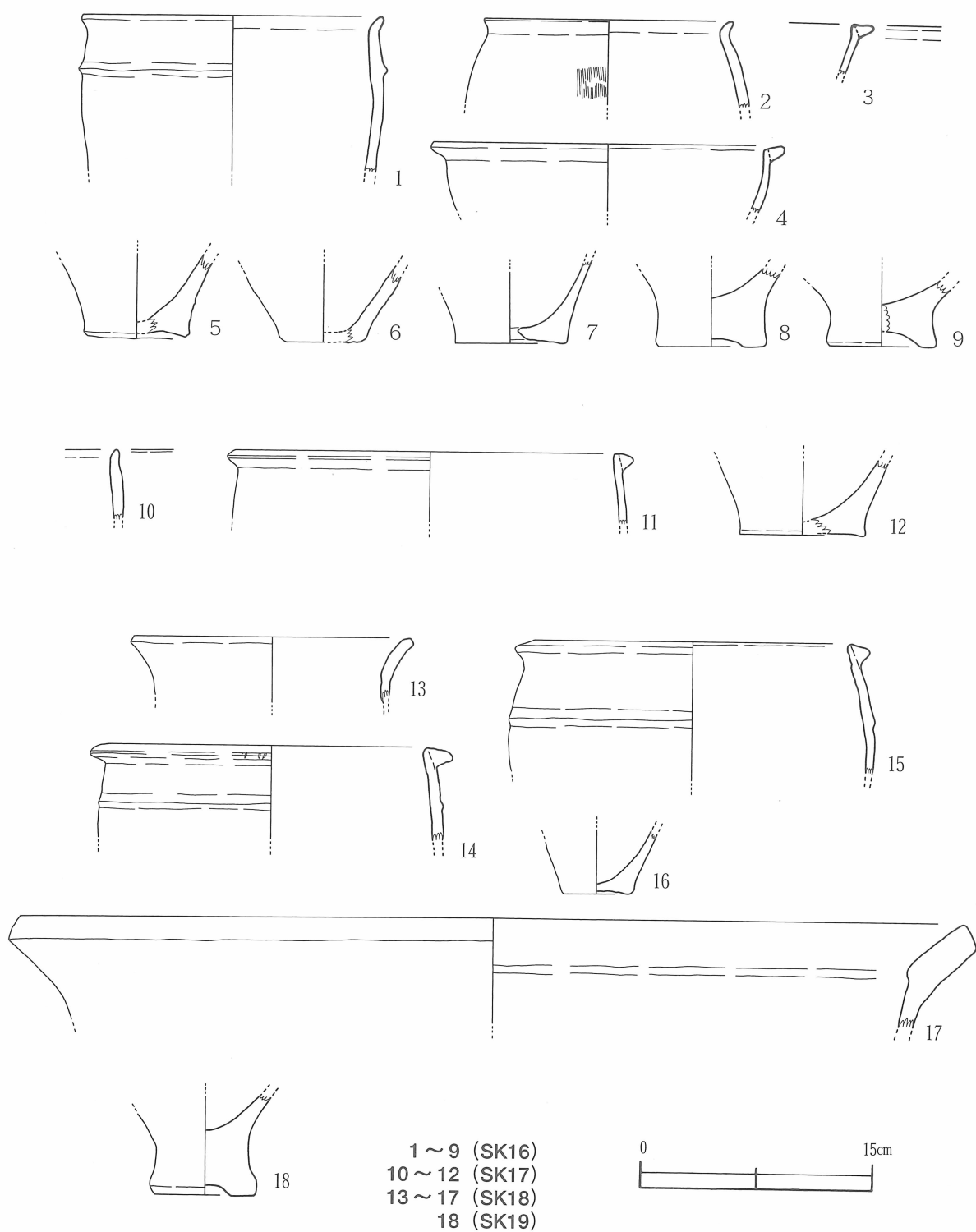


1～4 (SK12)
5～15 (SK13)

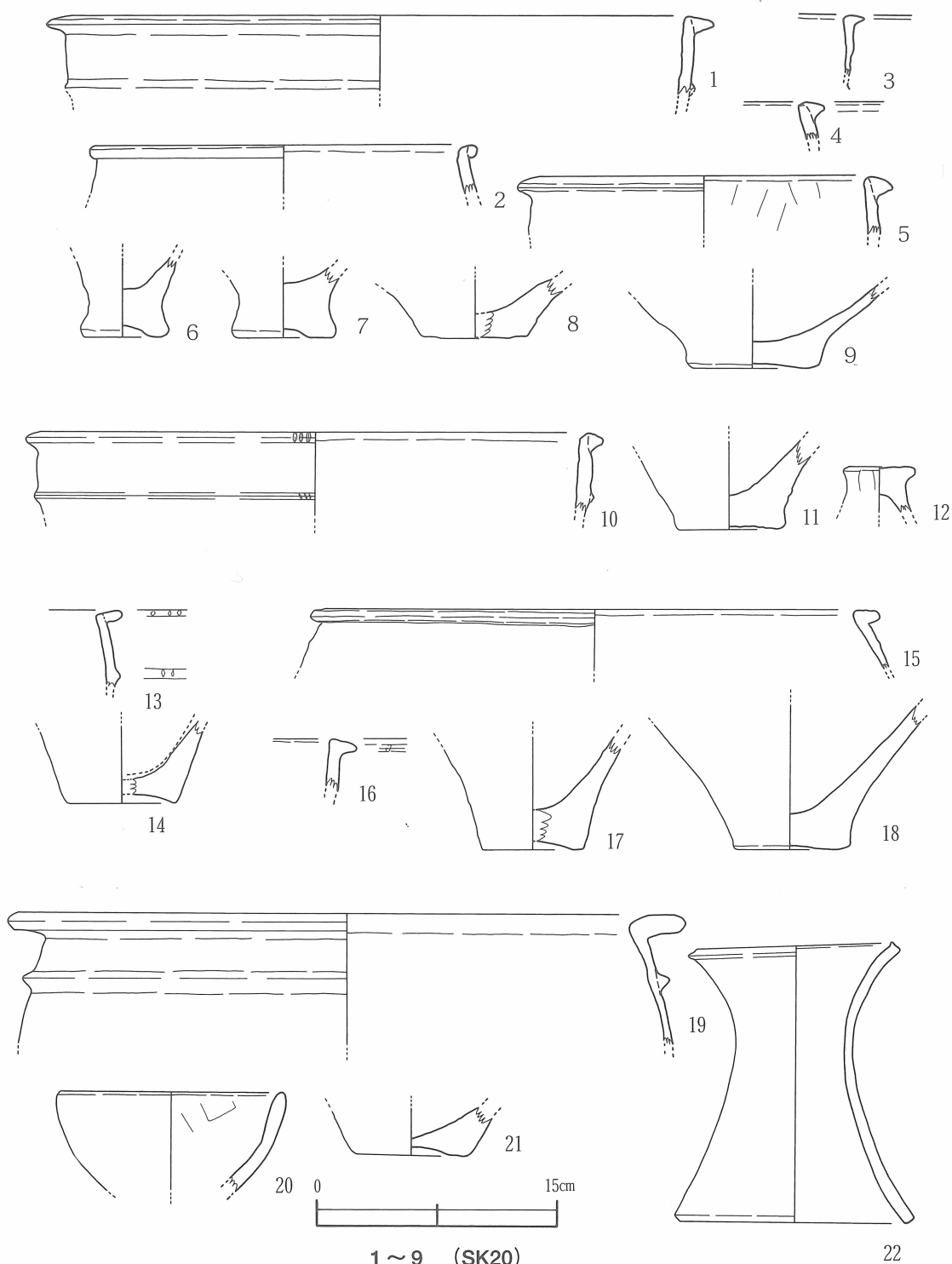
第20図 土壌 (SK12, 13) 出土土器 (1/4)



第21図 土壇 (SK14) 出土土器 (1/4)



第22図 土壇 (SK16, 17, 18, 19) 出土土器 (1/4)



1 ~ 9 (SK20)

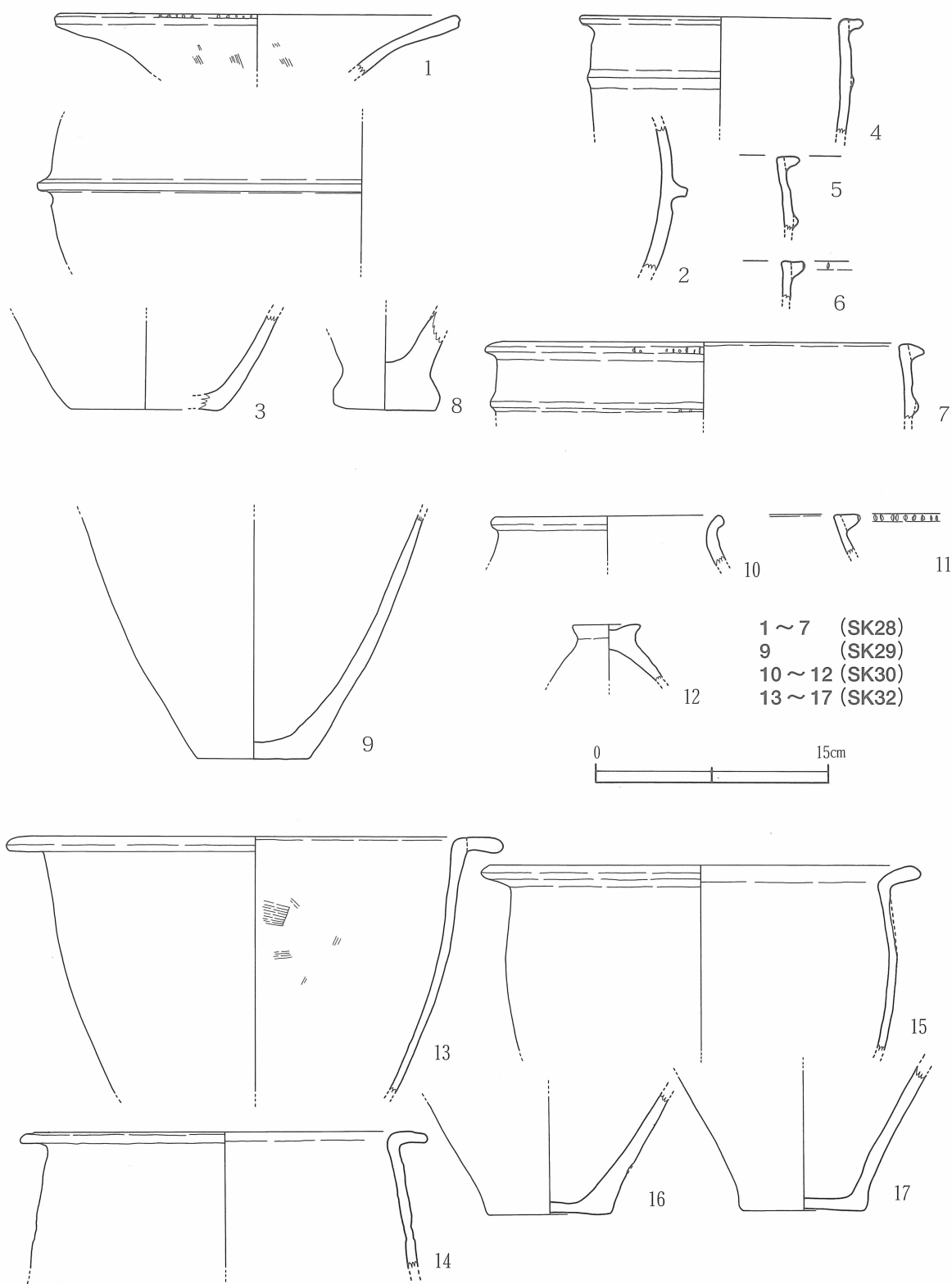
10 ~ 12 (SK23)

13 · 14 (SK24)

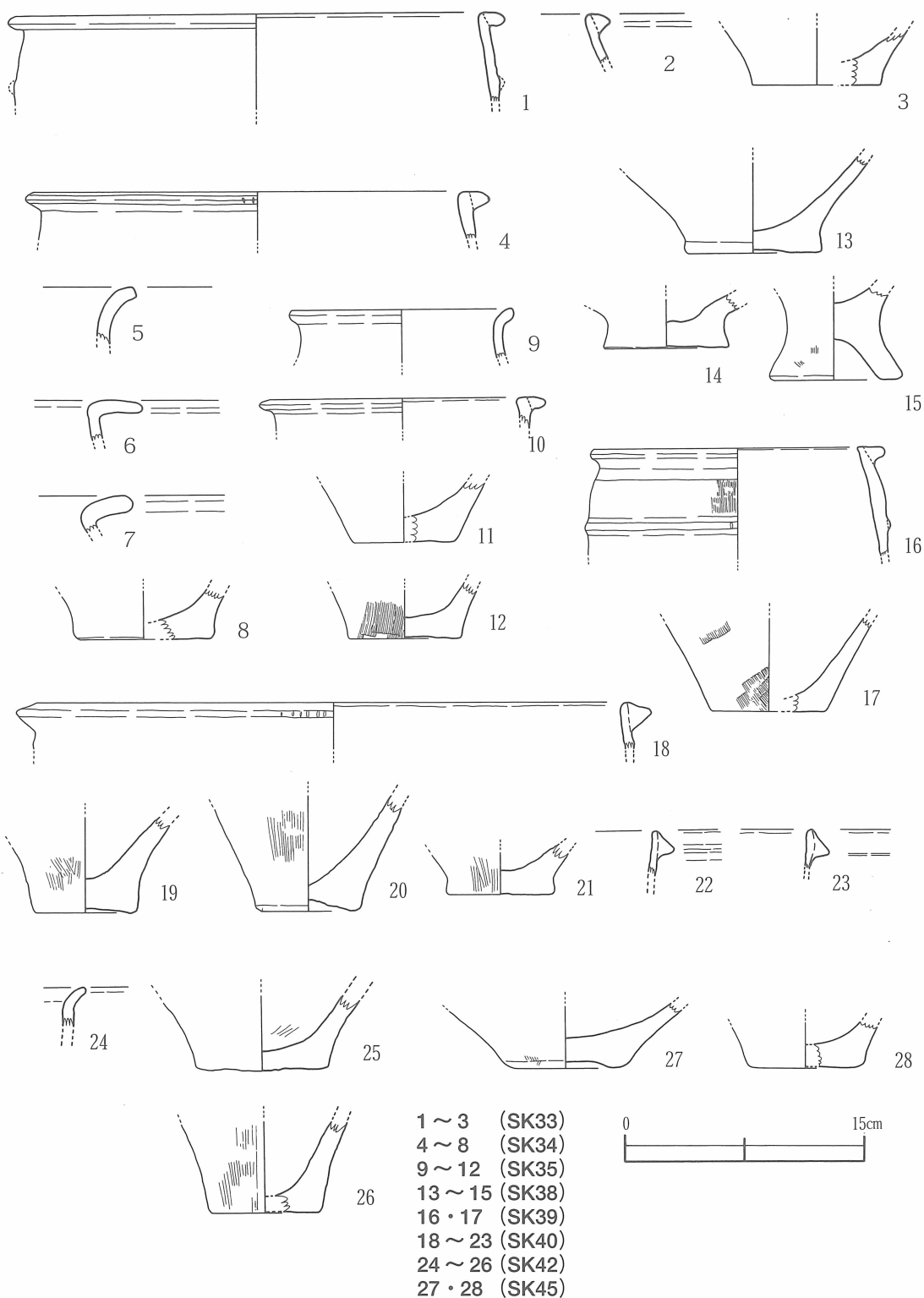
15 ~ 18 (SK25)

19 ~ 22 (SK26)

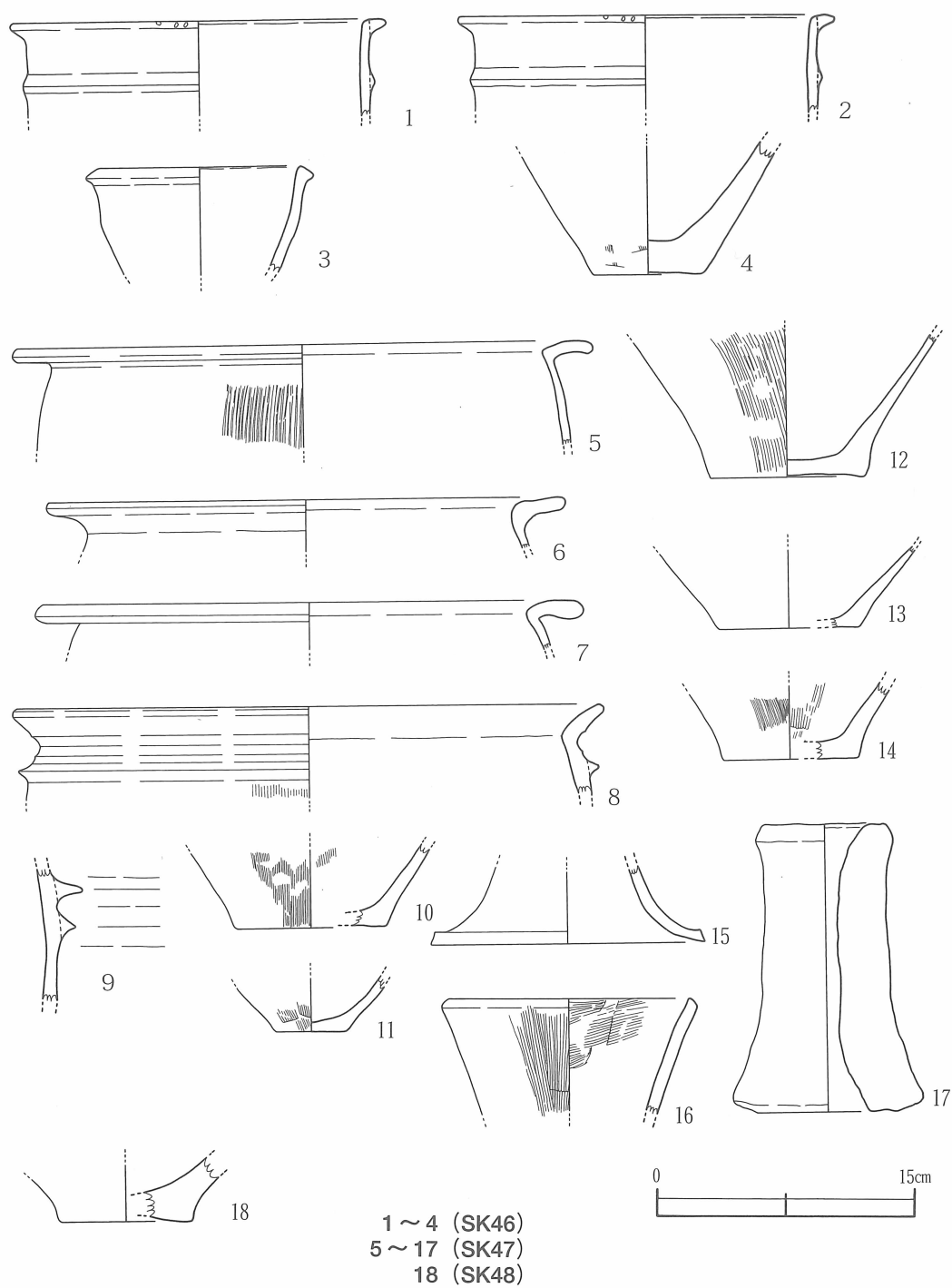
第23図 土墳 (SK20, 23, 24, 25, 26) 出土土器 (1/4)



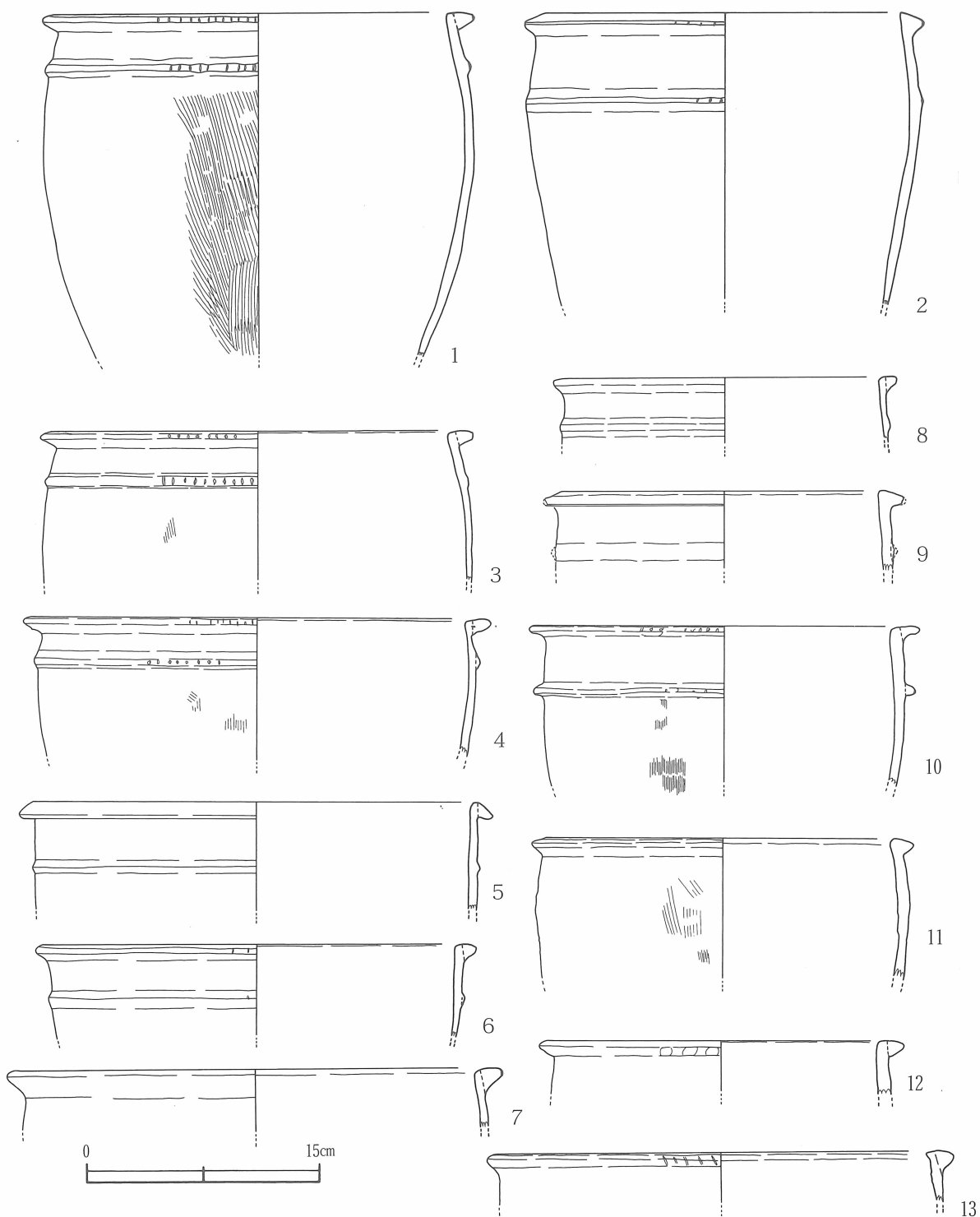
第24図 土墳 (SK28, 29, 30, 32) 出土土器 (1/4)



第25図 土壇 (SK33, 34, 35, 38, 39, 40, 42, 45) 出土土器 (1/4)

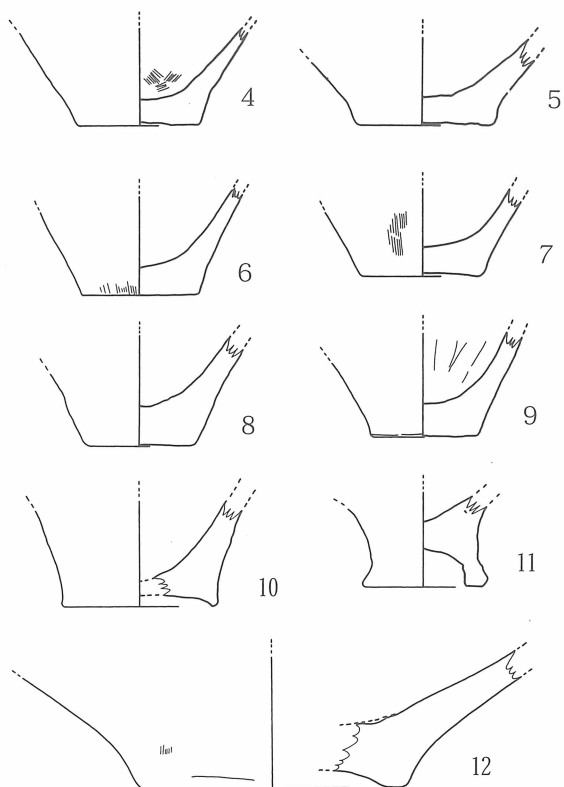
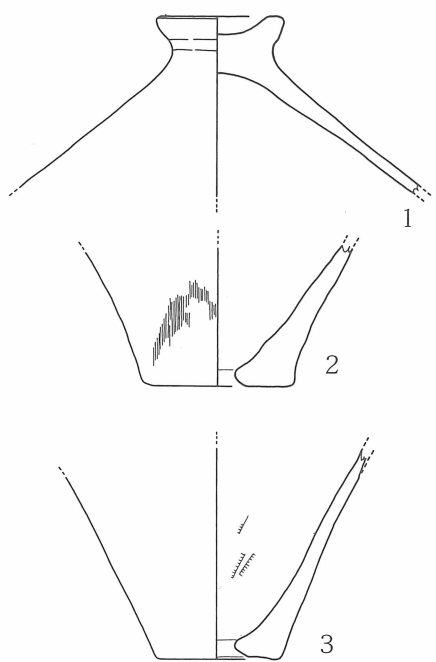


第26図 土壇 (SK46, 47, 48) 出土土器 (1/4)

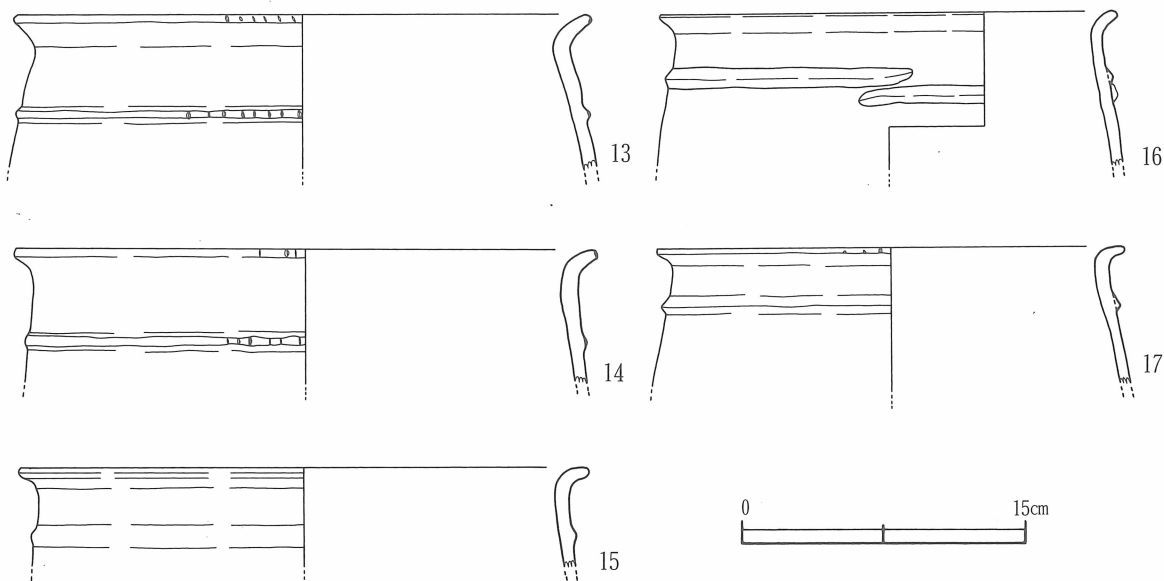


1 (SK49)
2 ~ 13 (SK50)

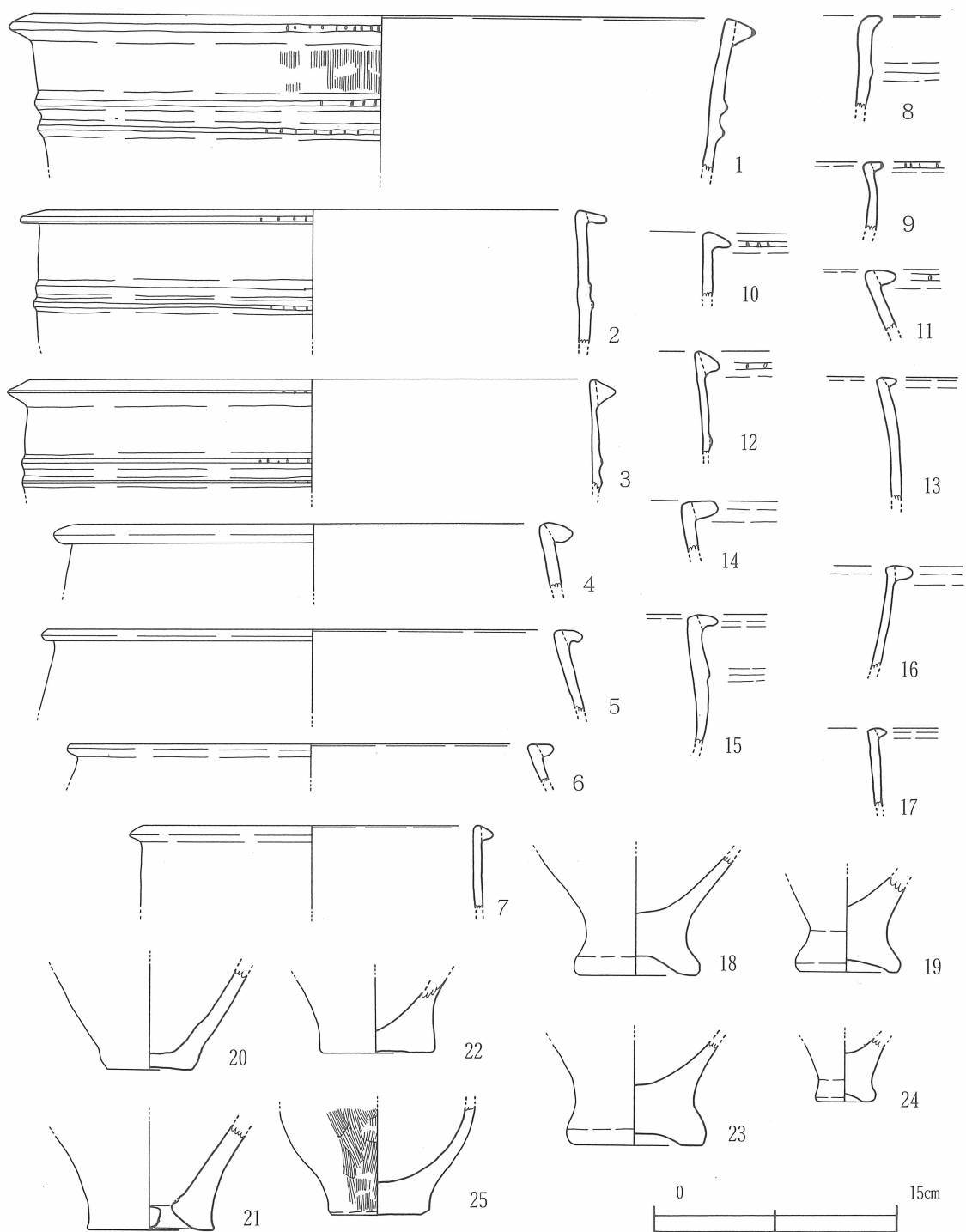
第 27 図 土壇 (SK49, 50) 出土土器 (1/4)



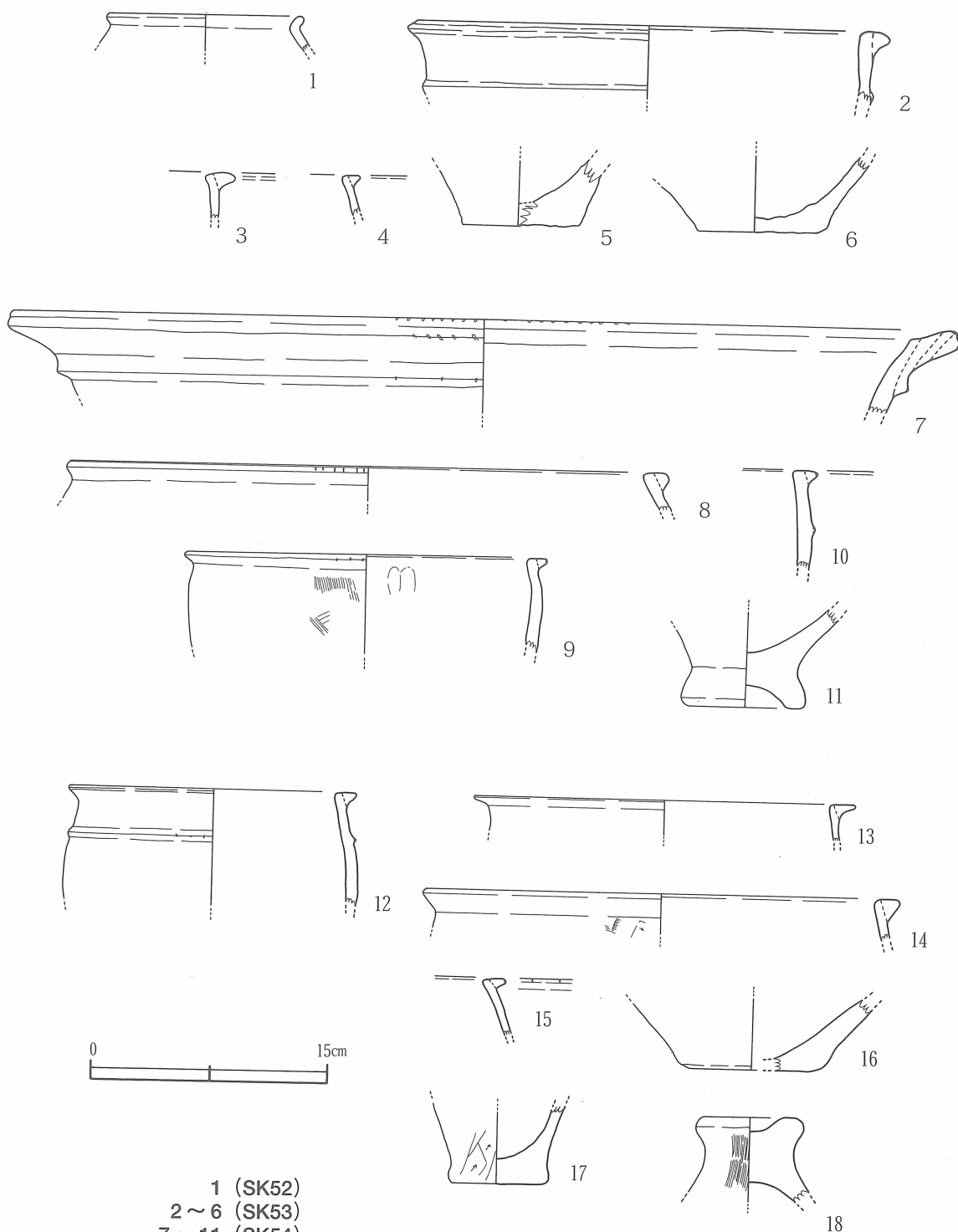
1 ~ 12 (SK50)
13 ~ 17 (SK51)



第28図 土壇 (SK50, 51) 出土土器 (1/4)

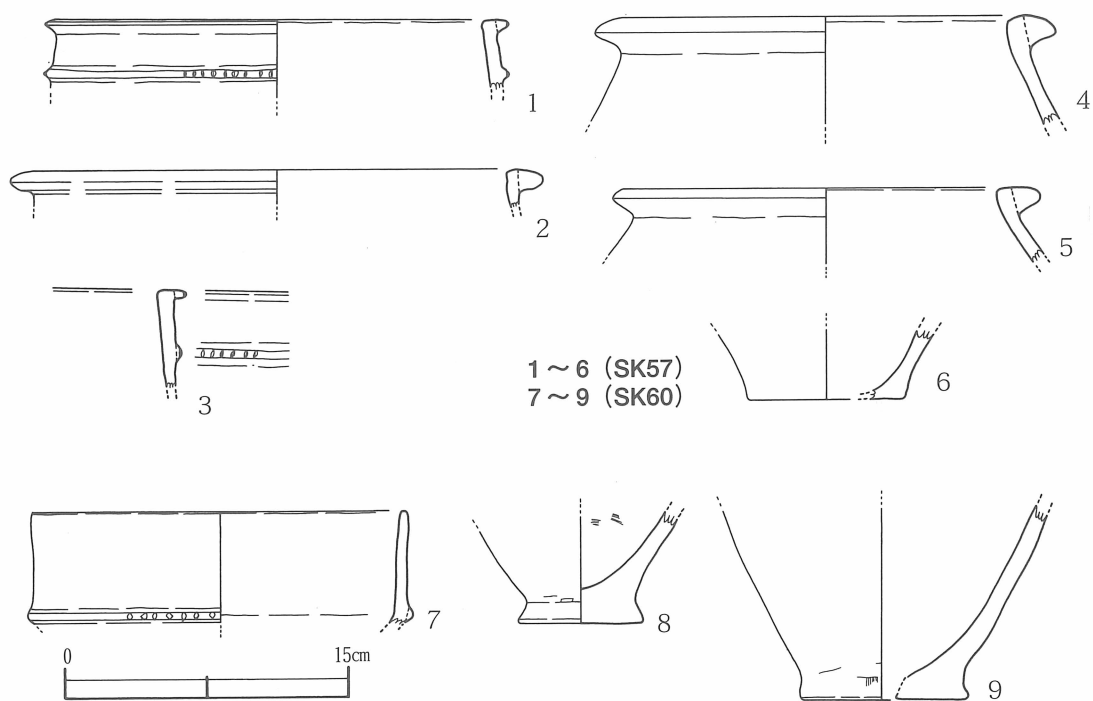


第29図 土壙 (SK51) 出土土器 (1/4)

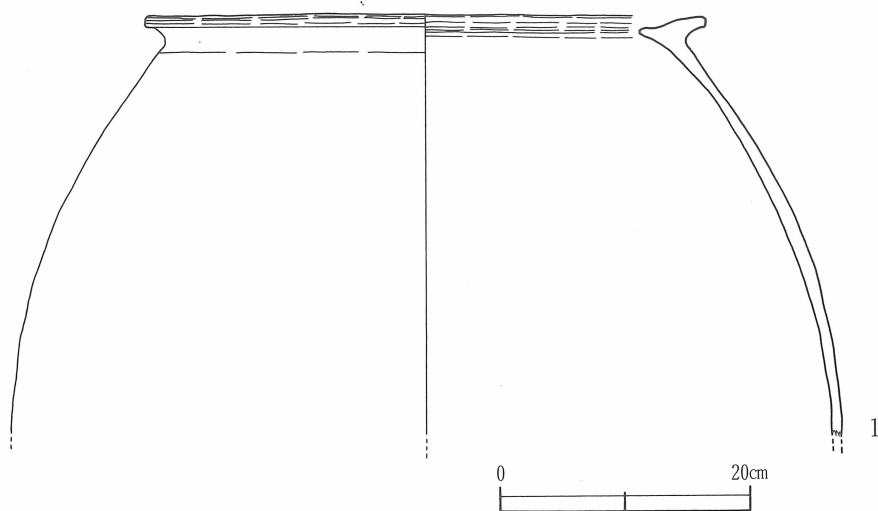


- 1 (SK52)
 2 ~ 6 (SK53)
 7 ~ 11 (SK54)
 12 (SK55)
 13 ~ 18 (SK56)

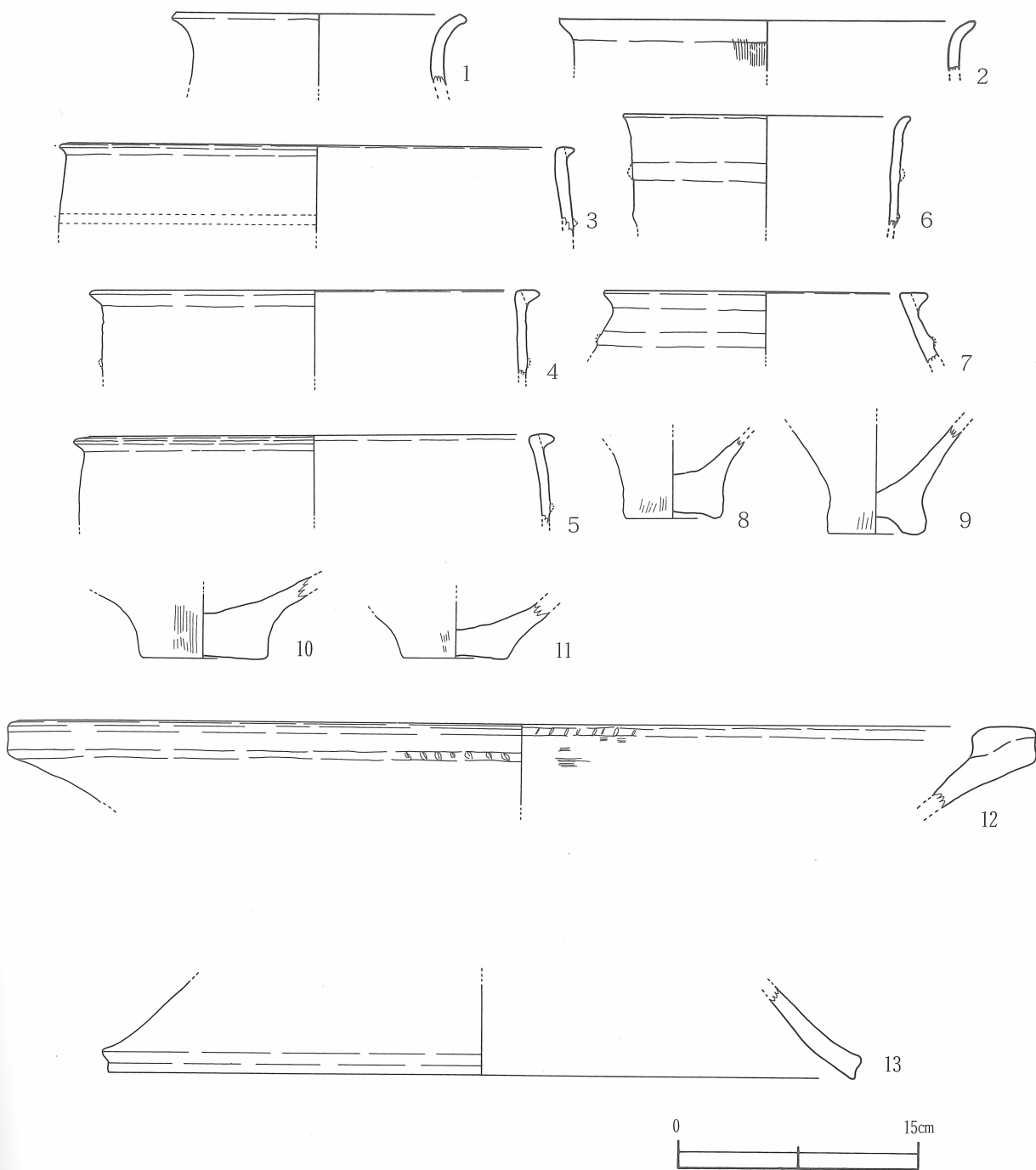
第30図 土壇 (SK52 ~ SK56) 出土土器 (1/4)



第 31 図 土壙 (SK57, SK60) 出土土器 (1/4)

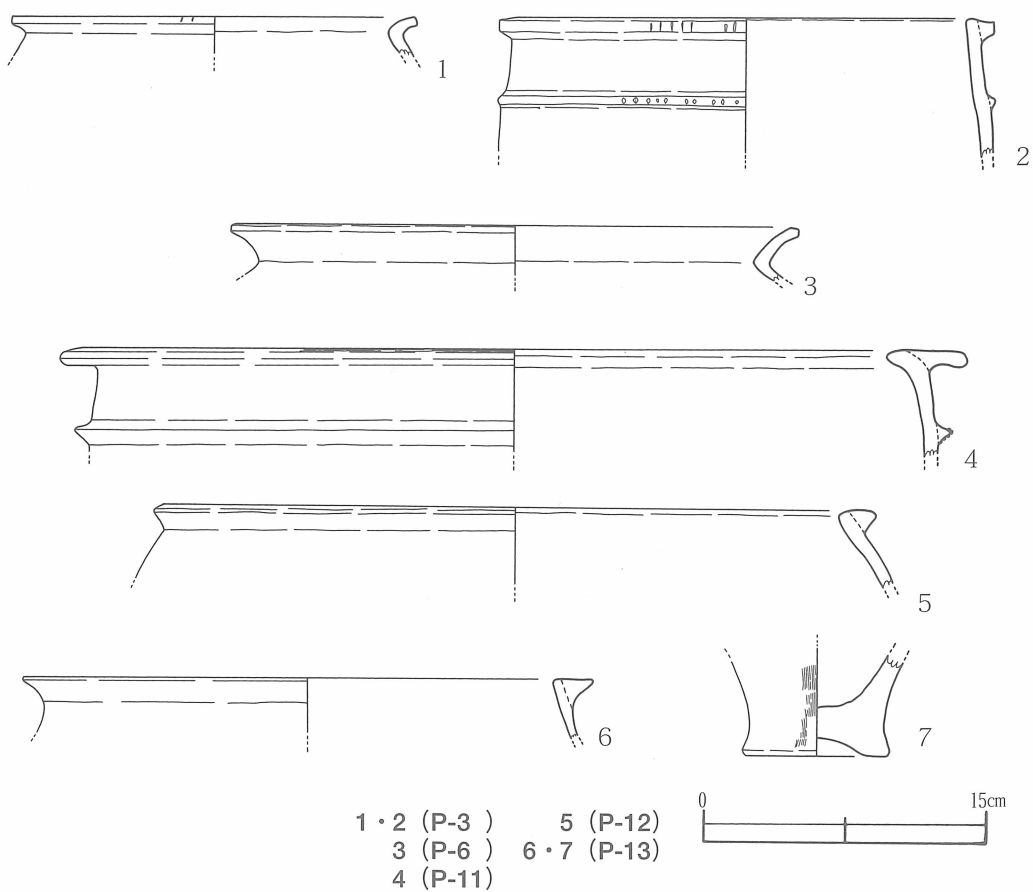


第 32 図 土壙 (SK32) 出土土器 (1/6)

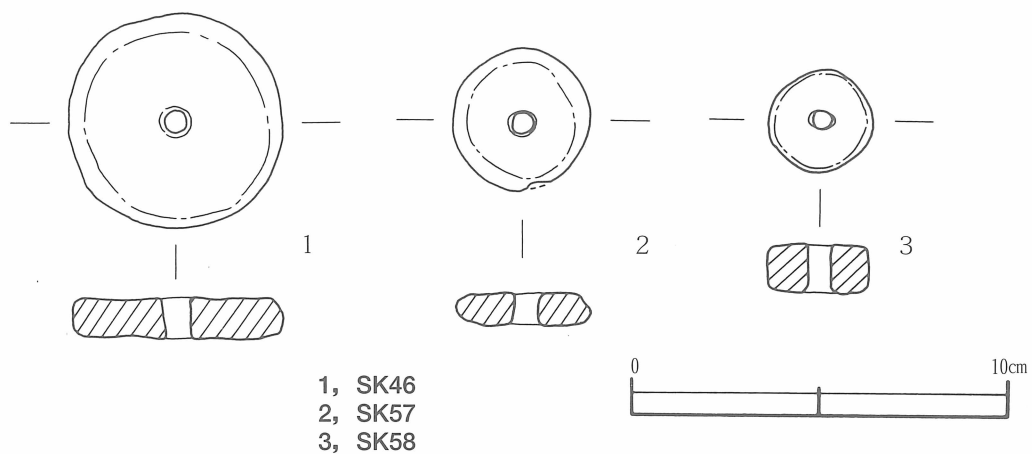


1 ~ 12 (SD04)
13 (SD01)

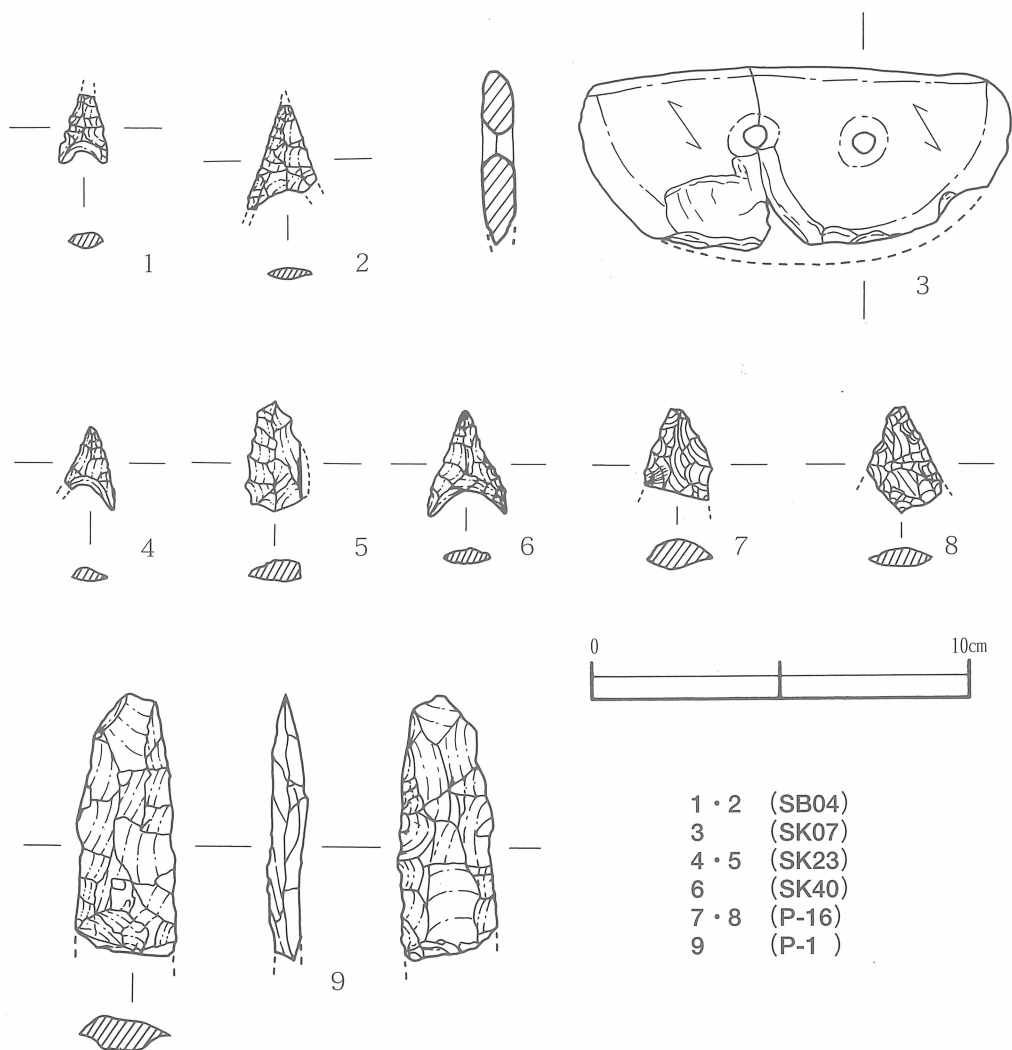
第33図 溝 (SD04, 01) 出土土器 (1/4)



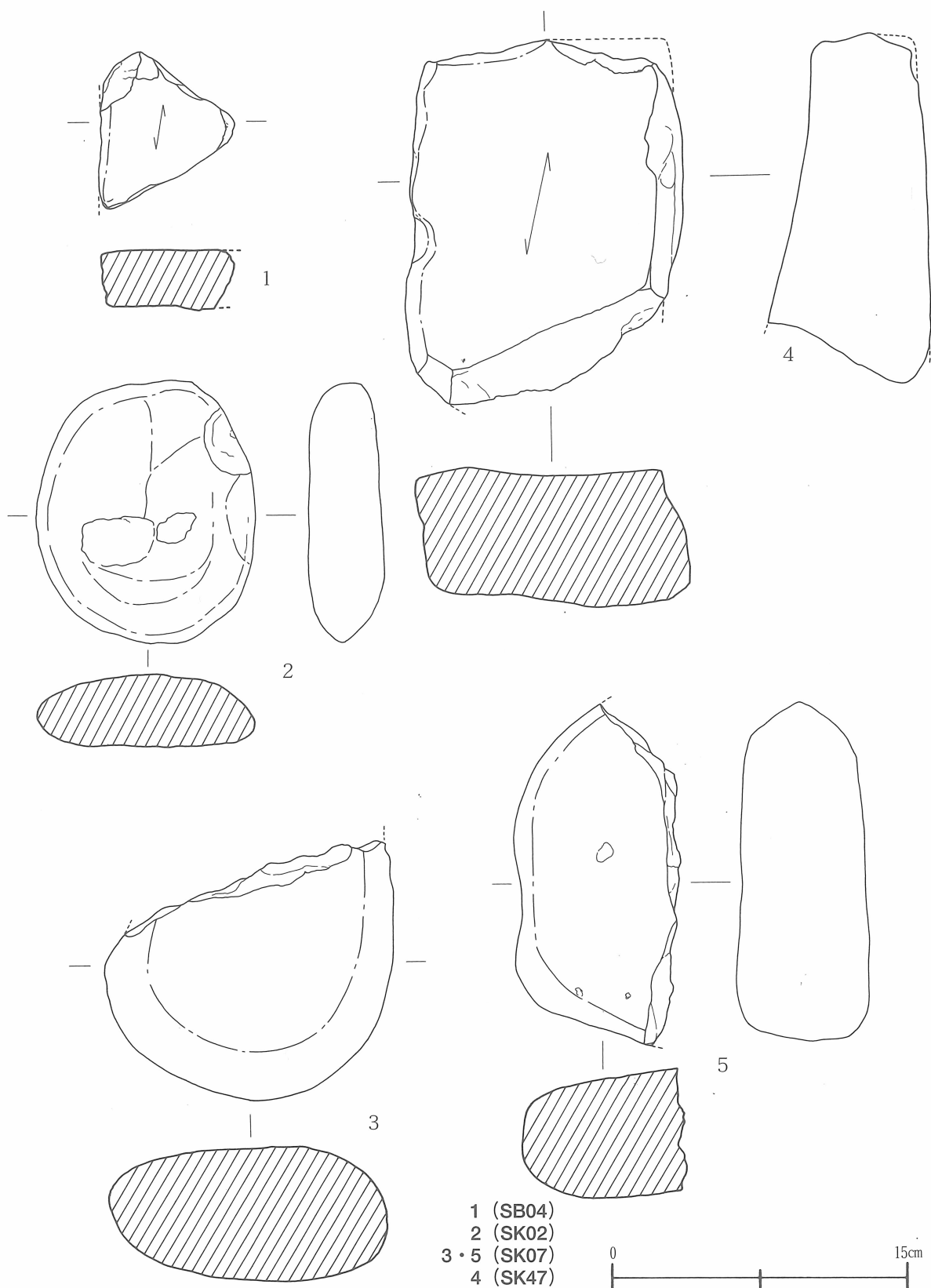
第34図 柱穴 (P3, P6, P11, P12, P13) 出土土器 (1/4)



第35図 S K出土土製品 (1/2)



第36図 SB, SK出土石製品 (1/2)



第37図 SB, SK出土石製品 (1/3)

圖 版



1. 北側調査区全景（西より）



2. 東側調査区全景

図版 2



1. 南側調査区全景（東より）



2. SB01（竪穴住居）

図版 3



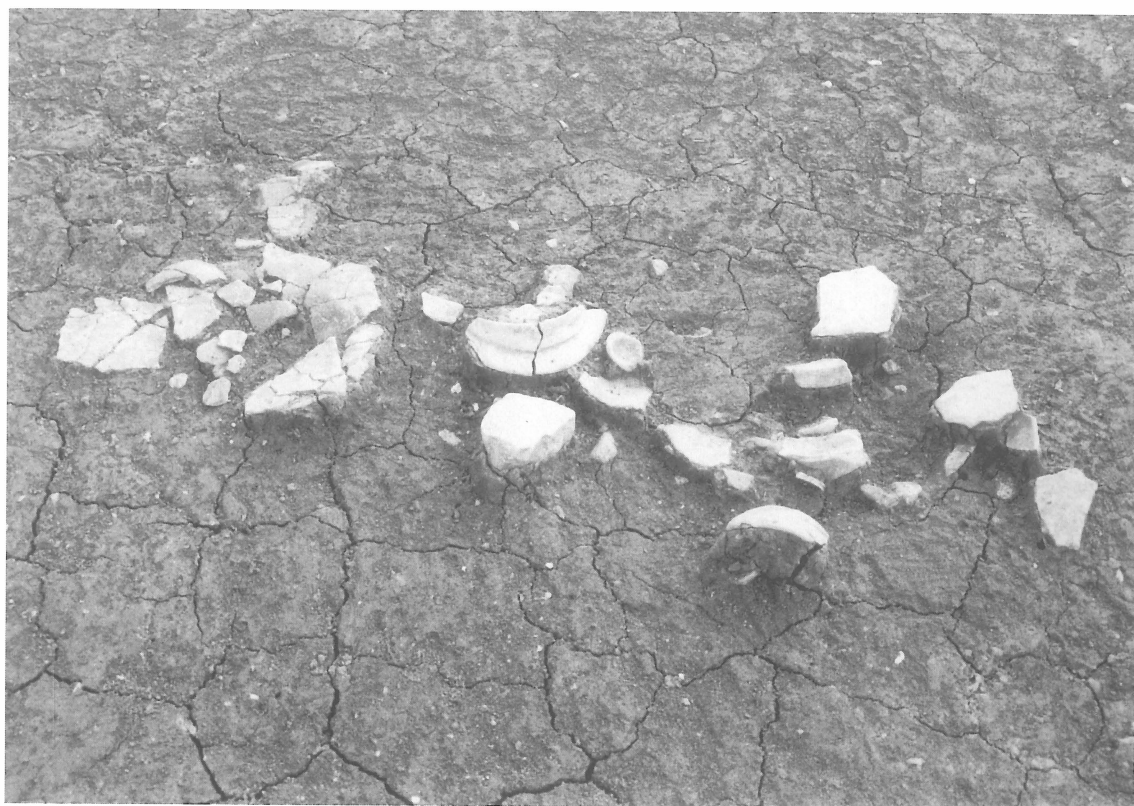
1. SB02 (掘立柱建物)



2. SB03 (掘立柱建物) (南西より)



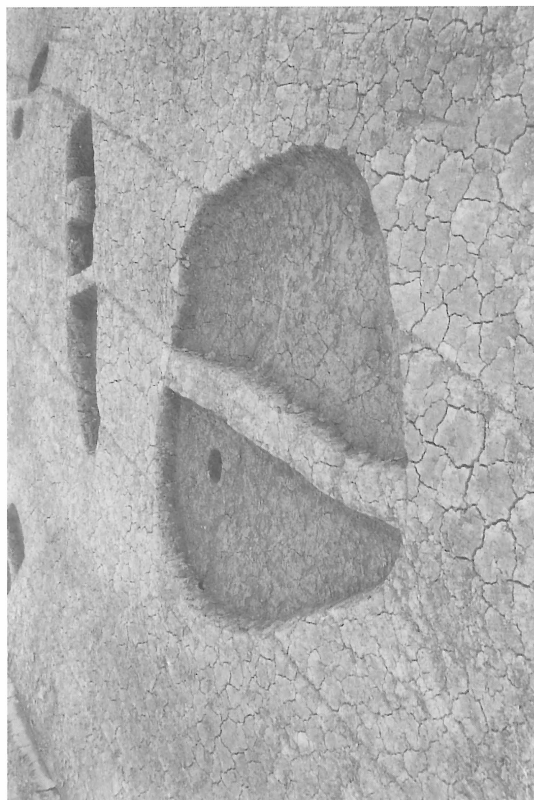
1. SB04 (竪穴住居) (西より)



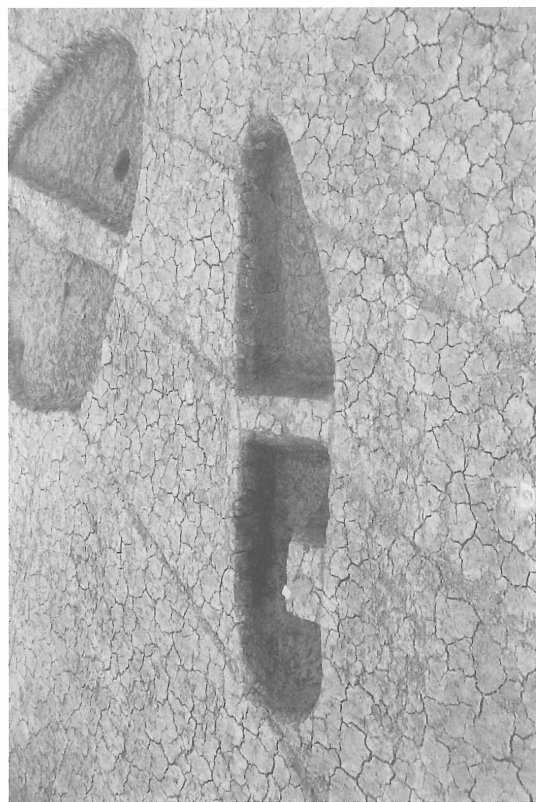
2. SB04 (竪穴住居) 出土土器



1. SK02



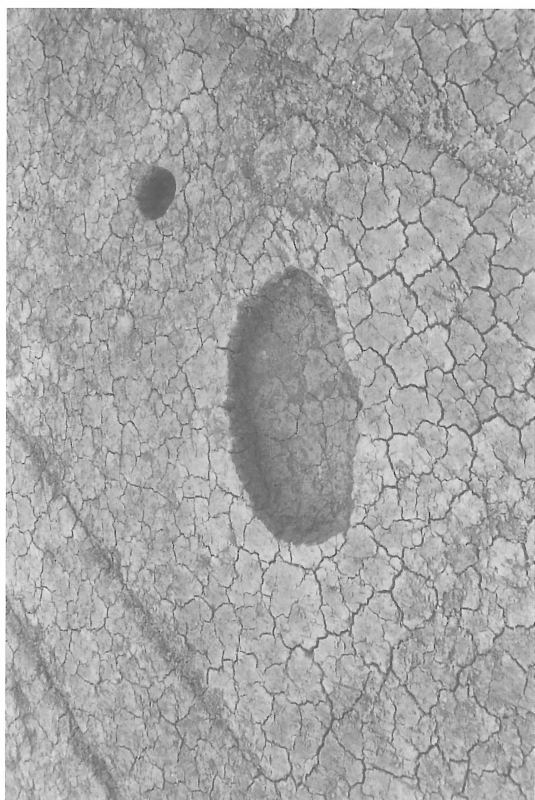
2. SK03



3. SK04



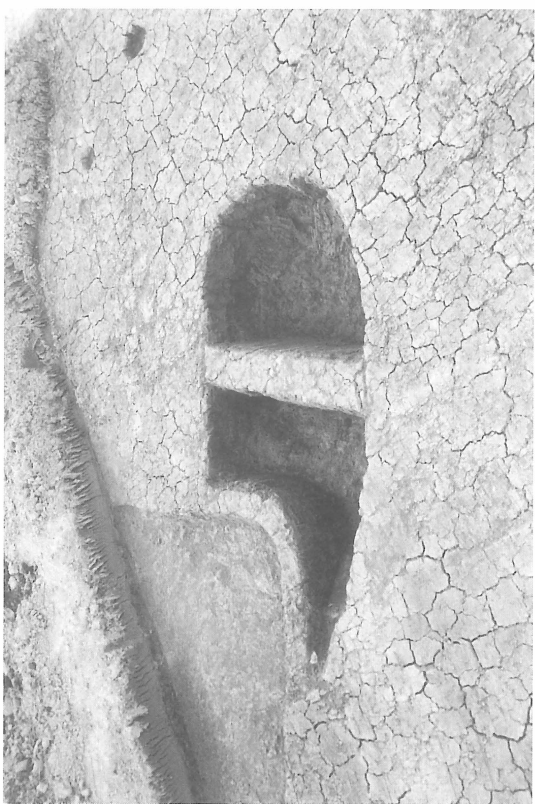
4. SK05



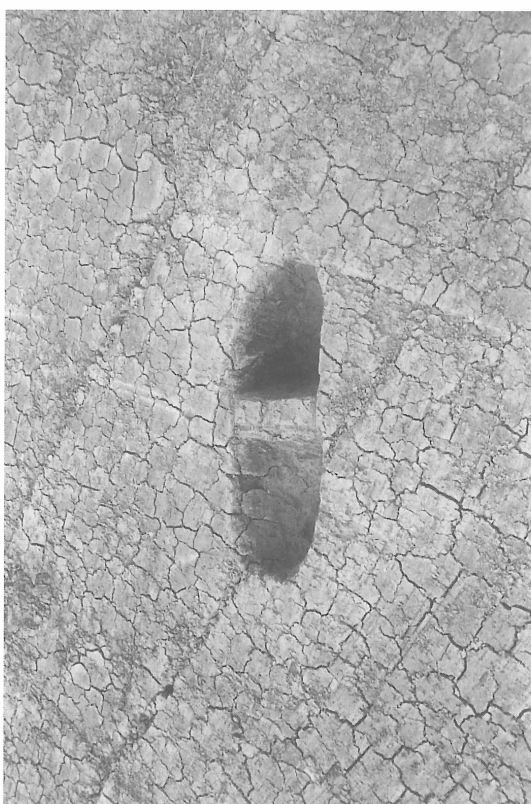
1. SK06



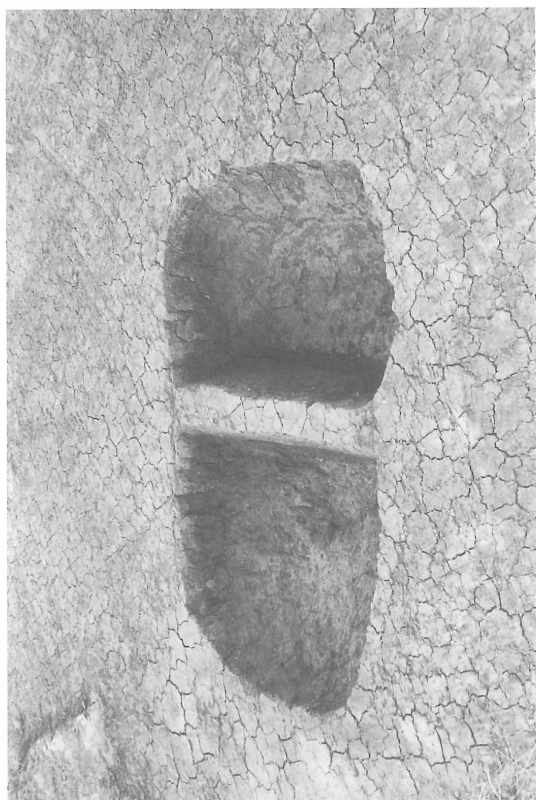
2. SK07



3. SK08



4. SK09



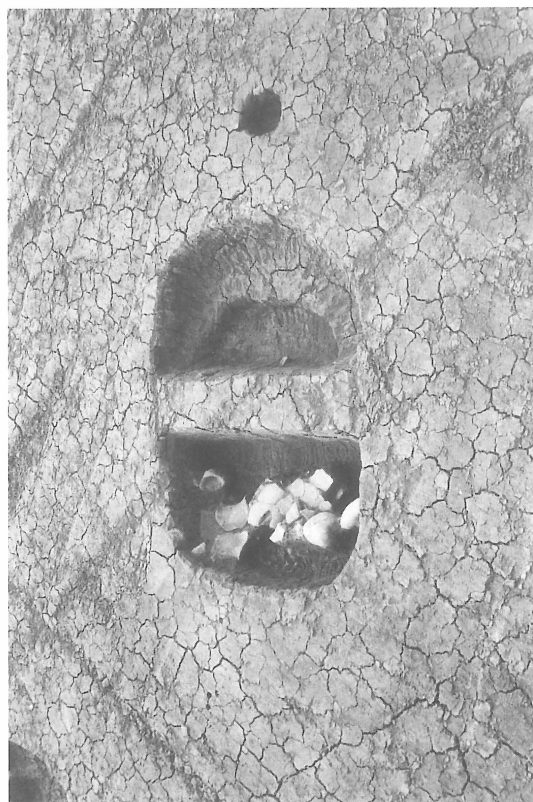
1. SK10



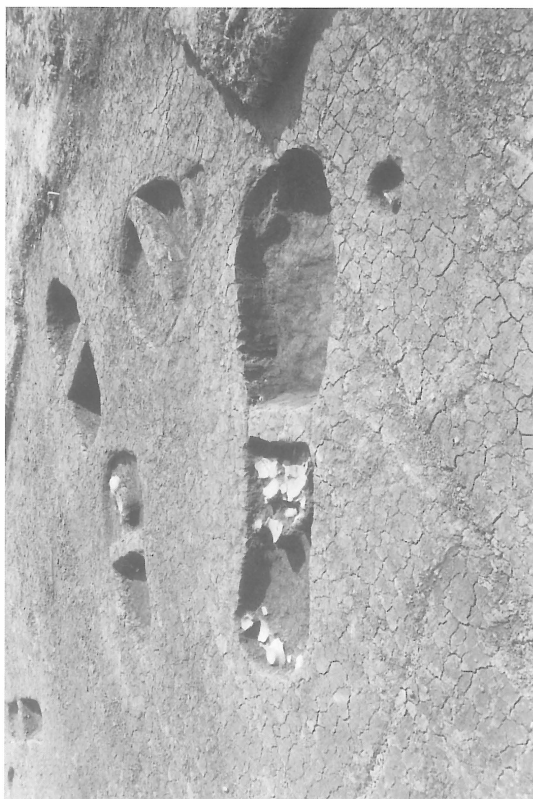
2. SK11



3. SK12



4. SK13



1. SK 14



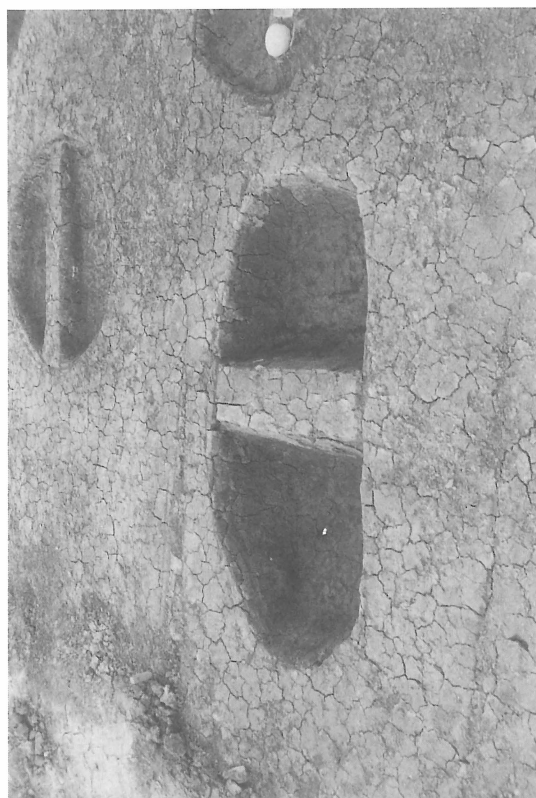
2. SK 14



3. SK 15



4. SK 16



1. SK17



2. SK18



3. SK20



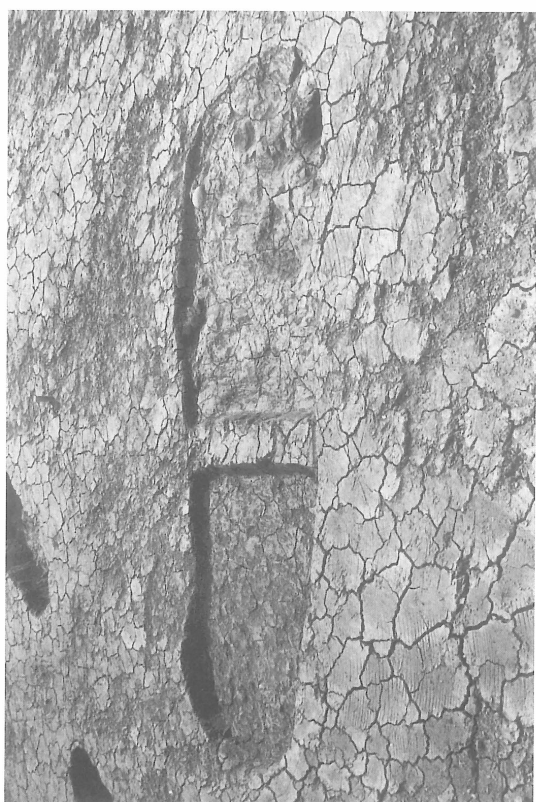
4. SK21



1. SK 22



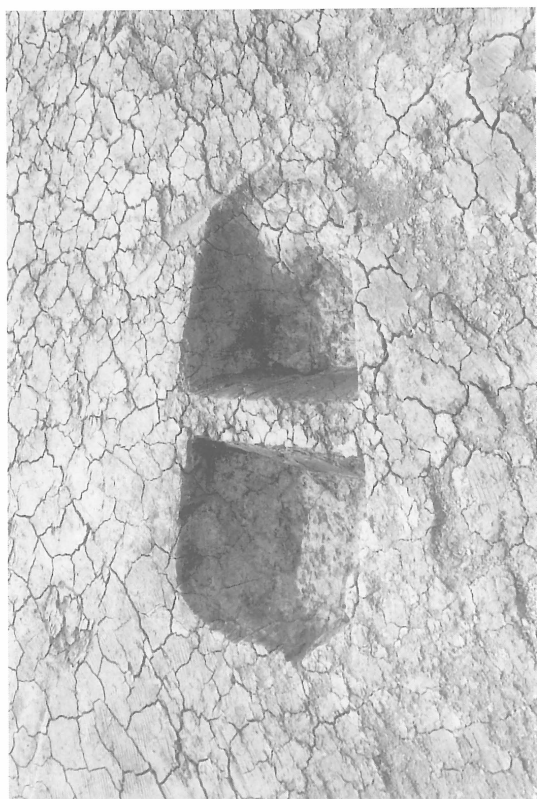
2. SK 24



3. SK 27



4. SK 29



1. SK 30



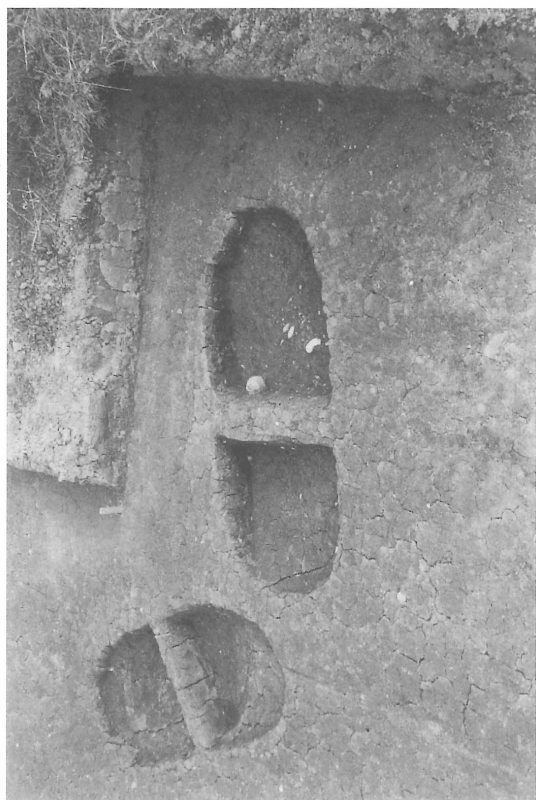
2. SK 48



3. SK 49



4. SK 51



1. SK53



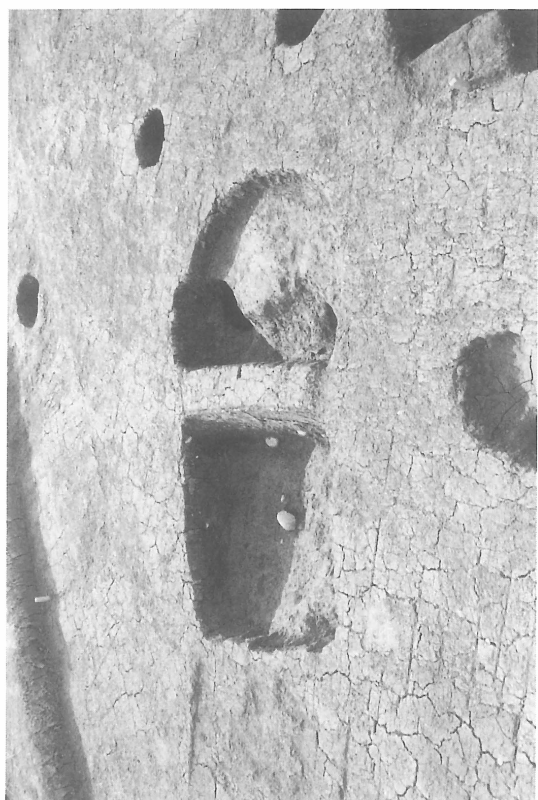
2. SK54



3. SK55



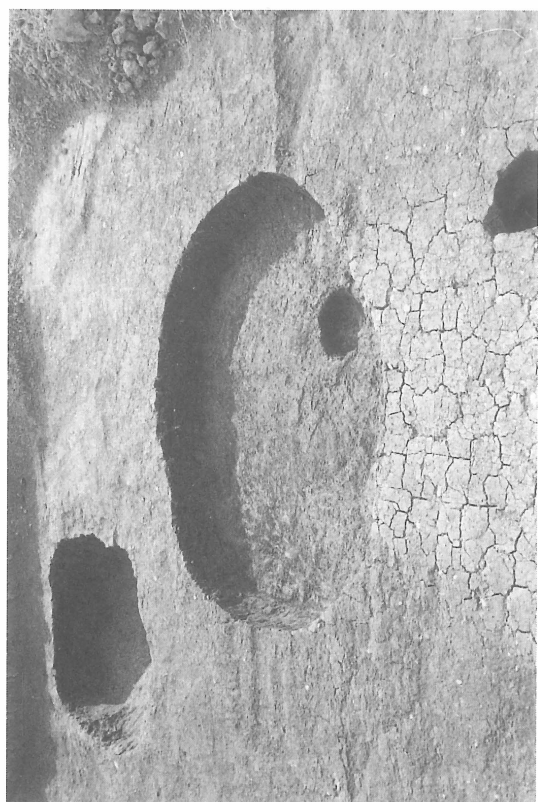
4. SK56



1. SK 57



2. SK 58



3. SK 59



4. SK 60

報告書抄録

ふりがな		ひとさお いせき						
書名		一 竿 遺 跡						
副書名		福岡県八女市大字立野字一竿・西田所在遺跡の調査報告						
巻次								
シリーズ名		八女市文化財調査報告書						
シリーズ番号		第 50 集						
編著者名		赤 崎 敏 男						
編集機関		八女市教育委員会						
所在地		834 福岡県八女市大字本町6 4 7 TEL 0943-23-1111						
発行年月日		西暦 1997年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コ ー ド 市町村 遺 跡 番 号		北 緯 ° , ' "	東 経 ° , ' "	調査期間	調査面積	調査原因
ひとさお 一竿遺跡	ふくおかけん 福岡県 やめし たでの 八女市大字立野 ひとさお 字一竿・西田	402109		33°12'20"	130°32'50"	1996. 10. 14 ～ 1996. 11. 28	2,000㎡	宅地造成
所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 跡		主 な 遺 物		特 記 事 項	
一 竿 遺 跡	集 落	弥生時代	竪穴住居 2 掘立柱建物 2 貯蔵穴 60 溝 4条		弥生式土器 " 石器			

一 竿 遺 跡
八女市文化財調査報告書
第 50 集

発 行 八女市教育委員会
八女市大字本町 6 4 7
印 刷 橋 爪 印 刷
八女市大字吉田 1899-1